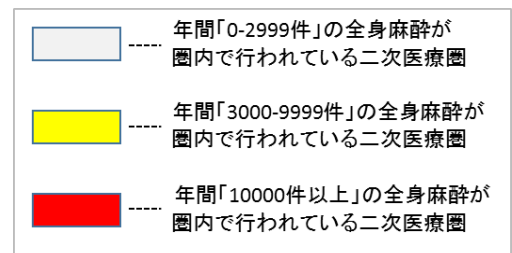
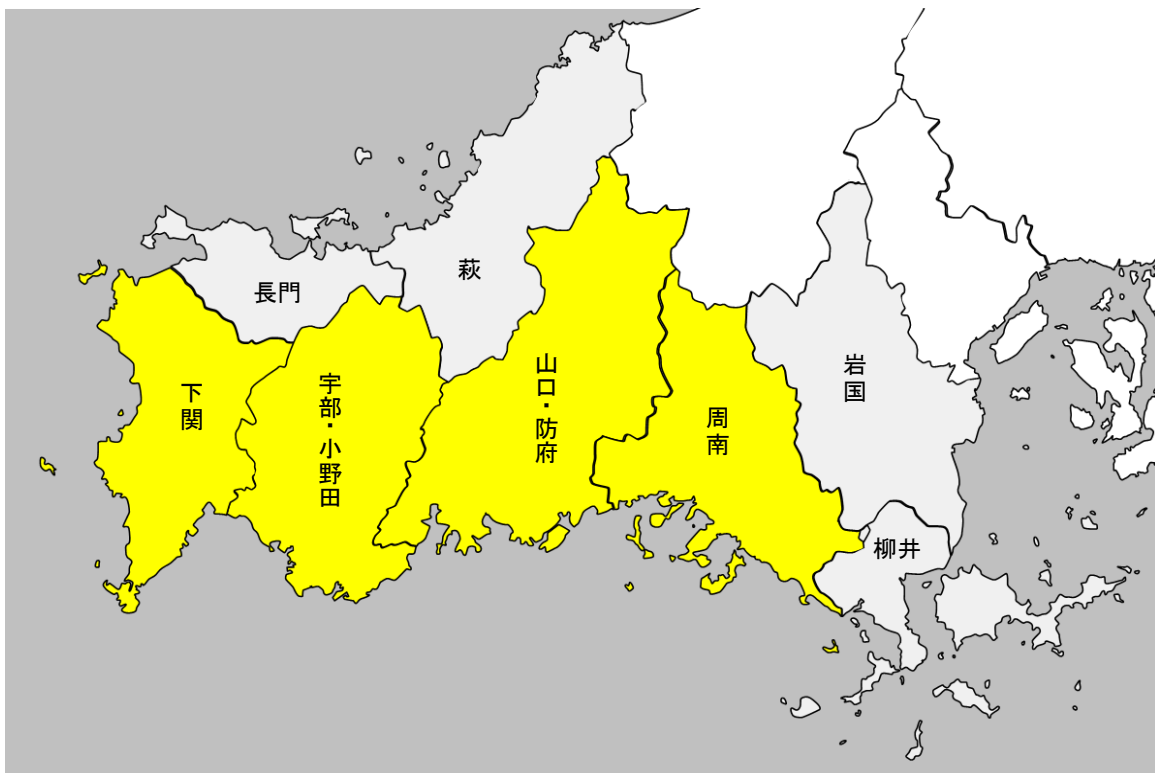


# 35. 山口県

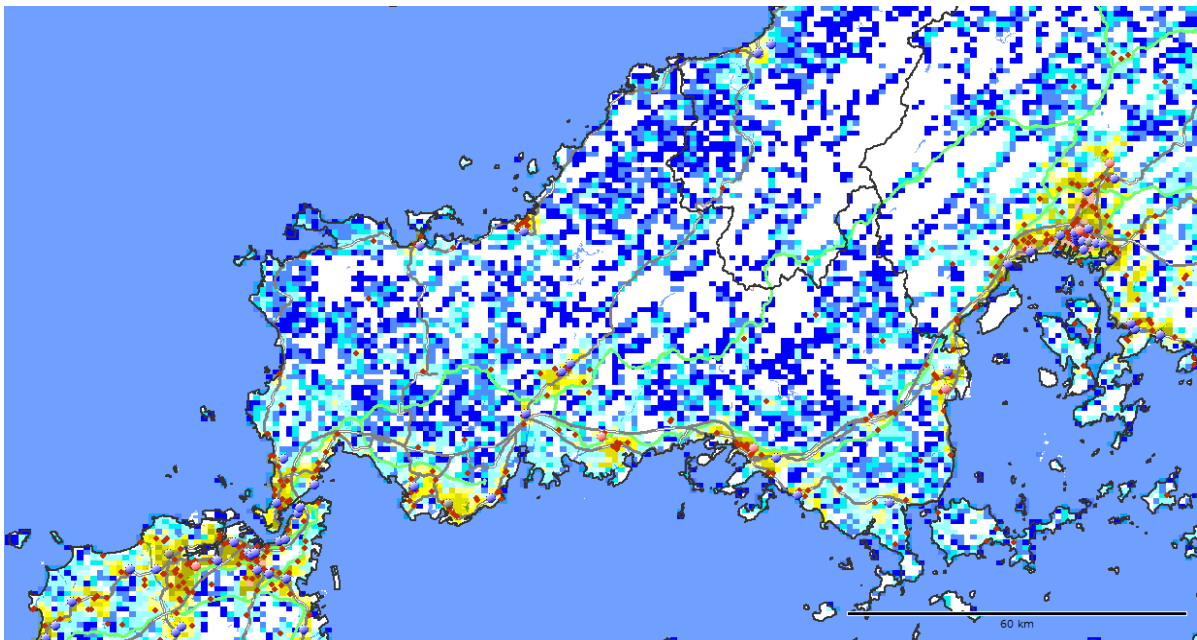


目次

山口県	35	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	35	-	8
1. 岩国医療圏	35	-	26
2. 柳井医療圏	35	-	31
3. 周南医療圏	35	-	36
4. 山口・防府医療圏	35	-	41
5. 宇部・小野田医療圏	35	-	46
6. 下関医療圏	35	-	51
7. 長門医療圏	35	-	56
8. 萩医療圏	35	-	61

# 35. 山口県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (山口県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 山口県は、総人口約1,405千人(2015年)、面積6,112km<sup>2</sup>、人口密度は230人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 山口県の総人口は2025年に1,293千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に1,100千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の227千人が、2025年にかけて281千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には257千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 山口県の一人当たり医療費(国保)は443千円(偏差値70)、介護給付費は255千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 山口県の一人当たり急性期医療密度指数は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は2.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 山口県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、21,709人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が13,832床(偏差値49)、高齢者住宅等が7,877床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18,052人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム48、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,263人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

山口県の総人口は、2005年1,492,606人が、2015年に1,404,729人と6%減少し、2025年の人口が1,292,809人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

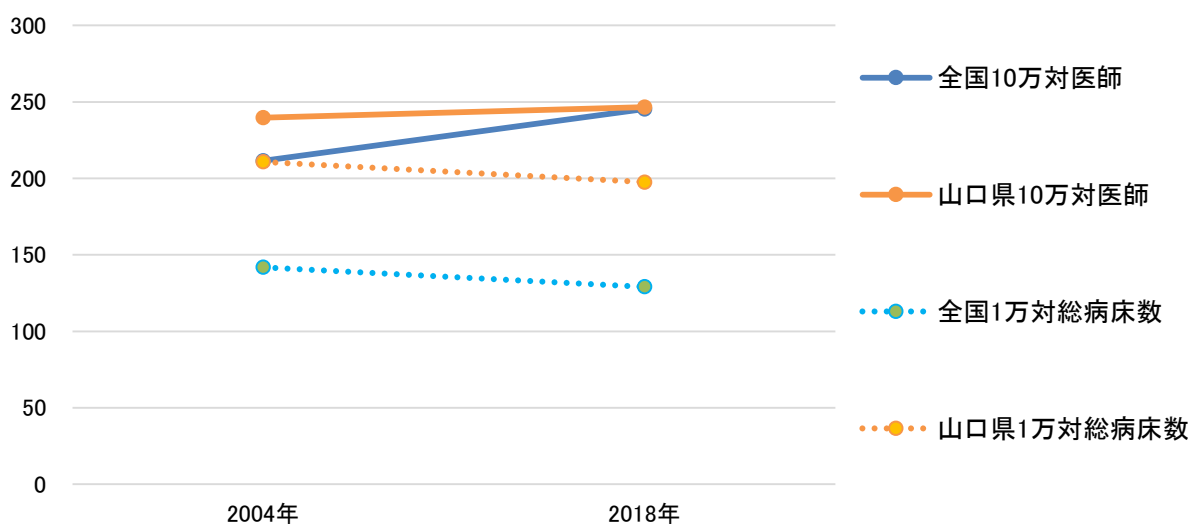
2004年の病院数が151(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2018年に145(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が1,326(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に1,263(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、63診療所が減少した。

2004年の総病床数が31,462床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2018年に27,751床(人口1万人当たり198(全国平均129)偏差値63)と、3,711床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

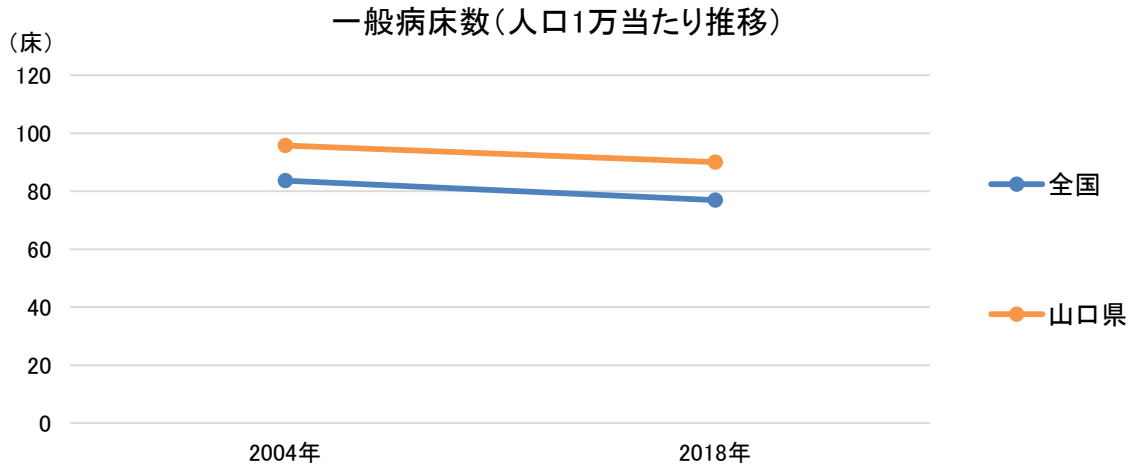
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,578人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2018年に3,465人(人口10万人当たり247人(全国平均245人)偏差値50)と、113人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



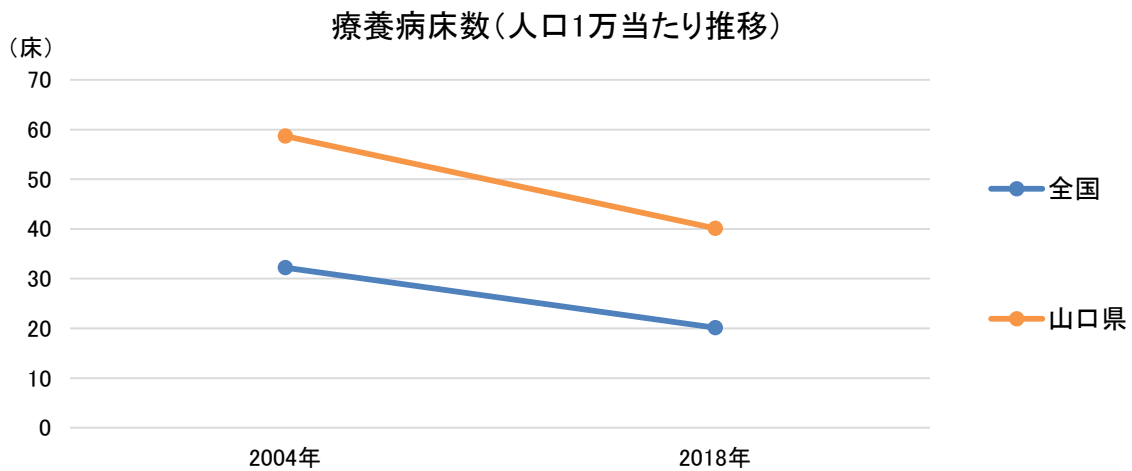
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14,289床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に12,644床(人口1万人当たり90(全国平均77)偏差値55)と、1,645床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



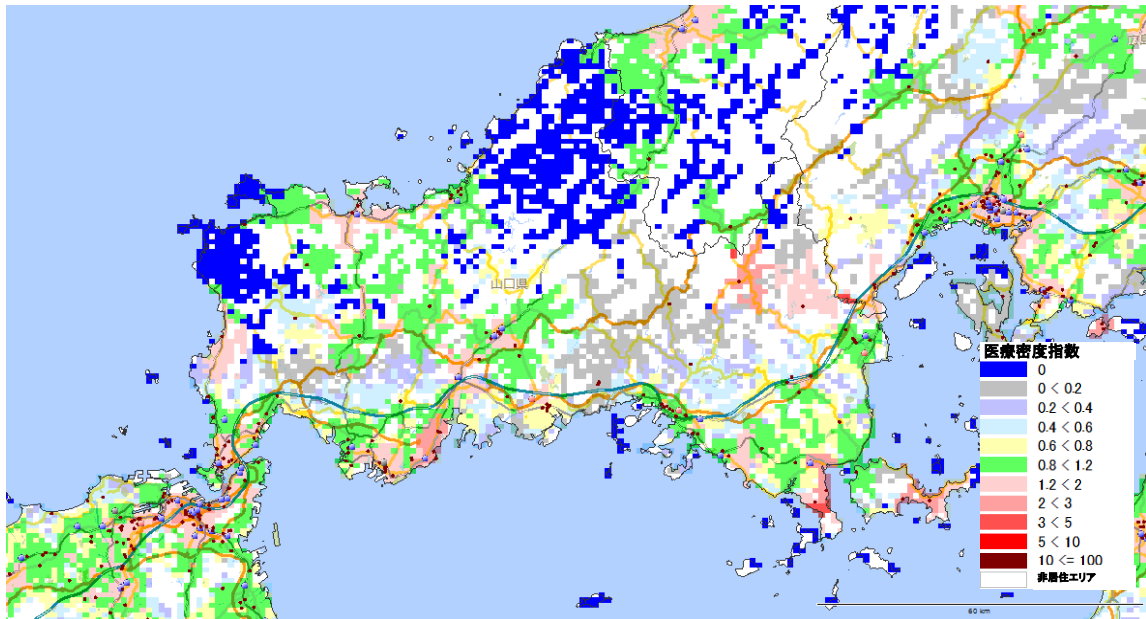
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が10,669床(75歳以上1,000人当たり59(全国平均32)偏差値65)であったが、2018年に9,119床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均20)偏差値68)と、1550床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



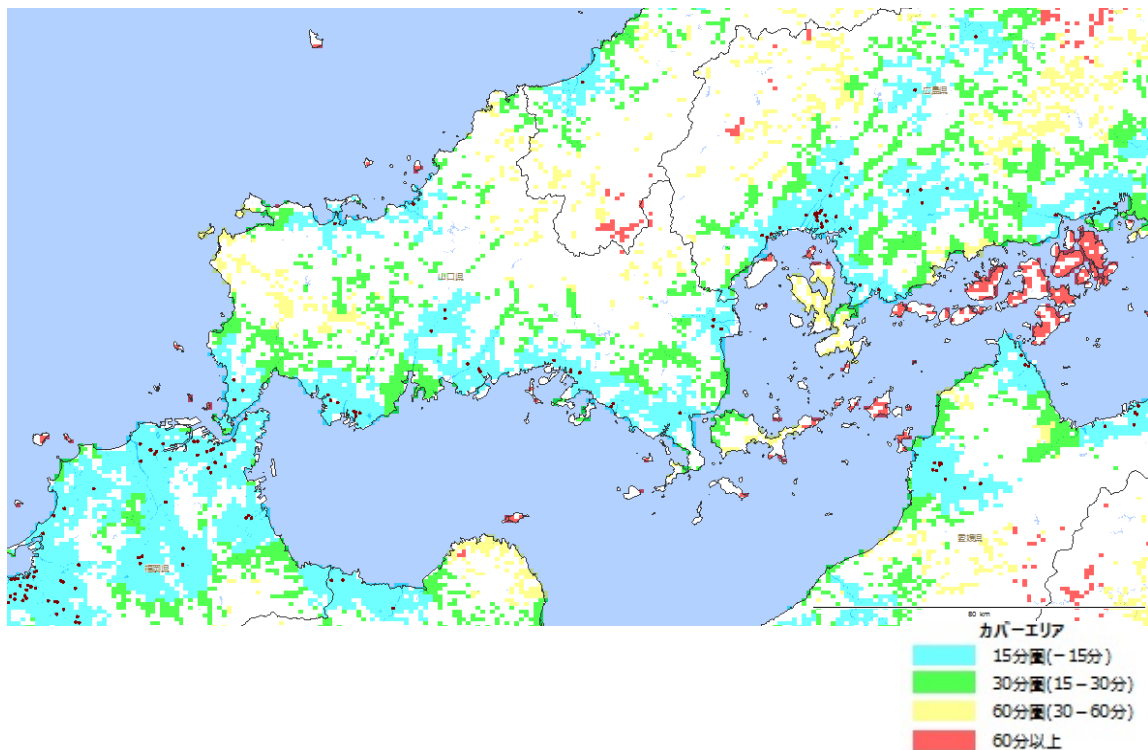
## (山口県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 35-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
山口県	1,405	27位	6,112	23位	229.8		32%	1,293	1,100	227	281	257	-8%	-15%	24%	-9%
岩国	143	10%	884	14%	161.8	過疎地域型	33%	127	103	25	30	27	-11%	-19%	20%	-10%
柳井	81	6%	398	7%	203.8	地方都市型	40%	69	53	18	20	16	-15%	-23%	11%	-20%
周南	252	18%	838	14%	300.8	地方都市型	31%	236	204	37	50	44	-6%	-14%	35%	-12%
山口・防府	313	22%	1,213	20%	258.4	地方都市型	28%	308	288	44	58	60	-2%	-6%	32%	3%
宇部・小野田	258	18%	892	15%	289.4	地方都市型	31%	239	204	40	50	46	-7%	-15%	25%	-8%
下関	269	19%	716	12%	375.1	地方都市型	33%	241	196	45	54	47	-10%	-19%	20%	-13%
長門	35	2%	357	6%	99.2	過疎地域型	40%	29	21	8	8	7	-17%	-28%	0%	-13%
萩	53	4%	814	13%	65.1	過疎地域型	40%	44	31	12	12	10	-17%	-30%	0%	-17%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 35-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
山口県	1.13	2.51	18,454	22,631	-22.6%
岩国	1.19	5.84	2,202	2,364	-7.3%
柳井	1.15	1.46	1,836	1,590	13.4%
周南	0.87	2.35	2,848	3,961	-39.1%
山口・防府	1.24	2.47	3,461	4,518	-30.5%
宇部・小野田	1.26	3.08	3,257	4,087	-25.5%
下関	1.22	2.94	3,350	4,423	-32.0%
長門	0.93	3.30	636	668	-5.0%
萩	0.58	2.39	864	1,021	-18.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 35-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
山口県	443	70	1.147	195	68	1.305	221	67	1.054	255	50
岩国	431	67	1.107	182	64	1.200	222	67	1.050	257	51
柳井	450	72	1.126	214	74	1.367	212	62	0.980	275	56
周南	406	61	1.027	171	60	1.109	209	60	0.976	229	43
山口・防府	441	69	1.136	194	68	1.283	220	66	1.047	261	52
宇部・小野田	474	77	1.207	206	72	1.347	241	78	1.132	267	54
下関	453	72	1.172	208	72	1.383	219	65	1.046	255	50
長門	455	73	1.124	203	71	1.282	228	71	1.043	236	45
萩	440	69	1.109	195	68	1.255	217	64	1.011	253	50
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 35-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
山口県	1,027	58	1.101	581	62	1.227	417	47	0.980
岩国	999	56	1.064	563	60	1.179	405	44	0.946
柳井	904	48	0.959	521	56	1.073	359	32	0.847
周南	925	50	1.013	509	54	1.106	386	39	0.919
山口・防府	1,010	57	1.082	551	59	1.160	428	50	1.006
宇部・小野田	1,104	65	1.184	616	65	1.301	456	57	1.071
下関	1,099	64	1.181	649	68	1.376	421	48	0.988
長門	1,129	67	1.196	664	70	1.383	448	55	1.043
萩	1,053	60	1.115	614	65	1.274	409	45	0.952
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 35-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
山口県	145	1.7%	10.3	59	1,263	1.2%	90	55
岩国	17	12%	11.9	63	129	10%	90	55
柳井	9	6%	11.1	61	70	6%	86	53
周南	24	17%	9.5	57	212	17%	84	52
山口・防府	27	19%	8.6	55	252	20%	80	50
宇部・小野田	29	20%	11.2	62	243	19%	94	57
下関	26	18%	9.7	58	278	22%	104	62
長門	6	4%	16.9	76	26	2%	73	46
萩	7	5%	13.2	67	53	4%	100	60
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 35-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
山口県	1,263	1.2%	90	55	1,156	1.2%	82	54	107	1.5%	7.6	54
岩国	129	10%	90	55	120	10%	84	55	9	8%	6.3	51
柳井	70	6%	86	53	62	5%	76	51	8	7%	9.9	58
周南	212	17%	84	52	196	17%	78	52	16	15%	6.3	52
山口・防府	252	20%	80	50	230	20%	73	49	22	21%	7.0	53
宇部・小野田	243	19%	94	57	232	20%	90	58	11	10%	4.3	48
下関	278	22%	104	62	245	21%	91	59	33	31%	12.3	62
長門	26	2%	73	46	22	2%	62	43	4	4%	11.3	60
萩	53	4%	100	60	49	4%	92	59	4	4%	7.5	54
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 35-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
山口県	26,235	1.7%	1,868	64	1,516	1.6%	108	54	27,751	1.7%	1,976	63
岩国	2,322	9%	1,623	59	113	7%	79	50	2,435	9%	1,702	58
柳井	2,339	9%	2,885	85	125	8%	154	59	2,464	9%	3,040	83
周南	3,696	14%	1,467	55	232	15%	92	52	3,928	14%	1,559	55
山口・防府	4,680	18%	1,493	56	304	20%	97	52	4,984	18%	1,590	56
宇部・小野田	5,829	22%	2,257	72	165	11%	64	49	5,994	22%	2,321	69
下関	5,394	21%	2,009	67	493	33%	184	62	5,887	21%	2,192	67
長門	925	4%	2,610	79	54	4%	152	59	979	4%	2,762	78
萩	1,050	4%	1,980	66	30	2%	57	48	1,080	4%	2,037	64
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 35-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
山口県	11,244	1.3%	800	54	9,003	2.8%	641	70	5,888	1.8%	419	58
岩国	1,043	9%	729	51	754	8%	527	64	525	9%	367	55
柳井	861	8%	1,062	66	1,048	12%	1,293	102	430	7%	530	63
周南	1,750	16%	694	50	1,325	15%	526	64	609	10%	242	49
山口・防府	2,107	19%	672	49	1,398	16%	446	60	1,161	20%	370	55
宇部・小野田	2,589	23%	1,002	64	1,665	18%	645	70	1,545	26%	598	66
下関	2,207	20%	822	55	2,048	23%	763	76	1,103	19%	411	57
長門	356	3%	1,005	64	243	3%	686	72	318	5%	897	80
萩	331	3%	624	47	522	6%	984	87	197	3%	372	55
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 35-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
山口県	1,283	1.6%	91	56	1,733	2.2%	123	59
岩国	96	7%	67	51	96	6%	67	51
柳井	32	2%	39	45	123	7%	152	63
周南	308	24%	122	63	241	14%	96	55
山口・防府	165	13%	53	48	342	20%	109	57
宇部・小野田	238	19%	92	56	310	18%	120	58
下関	444	35%	165	72	526	30%	196	69
長門	0	0%	0	36	38	2%	107	56
萩	0	0%	0	36	57	3%	108	56
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 35-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
山口県	8,012	6,939	774	17,815	4,350	7,836	61.5%	56	9.0%	52
岩国	643	643	0	1,611	392	694	62.1%	57	0.0%	48
柳井	889	829	60	1,450	32	988	96.3%	69	5.7%	50
周南	1,122	919	203	2,574	892	1,073	50.7%	52	15.9%	55
山口・防府	1,255	1,111	142	3,353	1,008	1,196	52.4%	53	10.6%	52
宇部・小野田	2,203	1,769	181	3,517	852	1,351	67.5%	59	11.8%	53
下関	1,497	1,364	97	3,749	797	1,860	63.1%	57	5.0%	50
長門	303	204	91	616	146	152	58.3%	55	37.4%	64
萩	100	100	0	945	231	522	30.2%	45	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 35-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
山口県	26,688	1.2%	1,900	52	10,800	1.2%	769	52
岩国	2,160	8%	1,510	47	1,164	11%	814	53
柳井	1,116	4%	1,377	46	312	3%	385	37
周南	3,408	13%	1,352	45	2,736	25%	1,086	64
山口・防府	7,128	27%	2,275	56	2,028	19%	647	47
宇部・小野田	5,976	22%	2,314	57	1,992	18%	771	52
下関	5,700	21%	2,123	55	2,088	19%	778	52
長門	648	2%	1,828	51	204	2%	576	44
萩	552	2%	1,041	41	276	3%	521	42
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 35-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
山口県	3,465	1.1%	247	50	2,258	1.1%	161	50	1,207	1.2%	86	52
岩国	299	9%	209	46	187	8%	131	45	112	9%	78	49
柳井	165	5%	204	45	109	5%	134	46	56	5%	69	45
周南	501	14%	199	45	300	13%	119	44	201	17%	80	49
山口・防府	693	20%	221	47	437	19%	139	47	256	21%	82	50
宇部・小野田	966	28%	374	64	715	32%	277	65	251	21%	97	57
下関	689	20%	257	51	416	18%	155	49	273	23%	102	58
長門	59	2%	166	41	42	2%	119	44	17	1%	48	36
萩	93	3%	175	42	52	2%	98	41	41	3%	77	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 35-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
山口県	259	0.9%	18.4	46	139	1.0%	9.9	48	107	0.9%	7.6	47
岩国	25	10%	17.5	45	11	8%	7.7	43	10	9%	7.0	45
柳井	16	6%	19.7	47	4	3%	4.9	37	5	5%	6.2	43
周南	23	9%	9.1	38	22	16%	8.7	45	19	18%	7.5	47
山口・防府	56	22%	17.9	46	31	22%	9.9	48	26	24%	8.3	49
宇部・小野田	87	34%	33.7	59	45	32%	17.4	63	23	21%	8.9	50
下関	43	17%	16.0	44	21	15%	7.8	43	20	19%	7.4	46
長門	3	1%	8.5	37	3	2%	8.5	45	2	2%	5.6	42
萩	6	2%	11.3	40	2	1%	3.8	35	2	2%	3.8	37
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 35-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
山口県	63	1.1%	4.5	50	104	1.0%	7.4	49	92	1.2%	6.5	52
岩国	4	6%	2.8	42	7	7%	4.9	41	7	8%	4.9	46
柳井	2	3%	2.5	41	4	4%	4.9	41	1	1%	1.2	33
周南	11	17%	4.4	49	16	15%	6.3	45	17	18%	6.7	53
山口・防府	13	21%	4.1	48	22	21%	7.0	48	18	20%	5.7	49
宇部・小野田	18	29%	7.0	61	31	30%	12.0	63	31	34%	12.0	72
下関	13	21%	4.8	51	17	16%	6.3	45	13	14%	4.8	46
長門	0	0%	0	30	4	4%	11.3	61	1	1%	2.8	38
萩	2	3%	3.8	47	3	3%	5.7	43	4	4%	7.5	56
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 35-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
山口県	127	1.3%	9.0	54	254	1.2%	18.1	51	193	1.1%	13.7	51
岩国	13	10%	9.1	54	26	10%	18.2	51	15	8%	10.5	44
柳井	8	6%	9.9	56	13	5%	16.0	48	7	4%	8.6	40
周南	17	13%	6.7	48	26	10%	10.3	40	21	11%	8.3	39
山口・防府	26	20%	8.3	52	46	18%	14.7	46	46	24%	14.7	53
宇部・小野田	40	31%	15.5	71	76	30%	29.4	67	53	27%	20.5	66
下関	19	15%	7.1	49	50	20%	18.6	52	39	20%	14.5	53
長門	4	3%	11.3	60	7	3%	19.8	54	4	2%	11.3	46
萩	0	0%	0	29	10	4%	18.9	52	8	4%	15.1	54
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 35-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
山口県	85	1.4%	6.1	55	91	1.3%	6.5	54	82	1.4%	5.8	54
岩国	8	9%	5.6	53	5	5%	3.5	42	4	5%	2.8	44
柳井	4	5%	4.9	50	5	5%	6.2	53	0	0%	0	35
周南	14	16%	5.6	53	13	14%	5.2	49	10	12%	4.0	48
山口・防府	15	18%	4.8	50	19	21%	6.1	52	13	16%	4.1	48
宇部・小野田	24	28%	9.3	70	28	31%	10.8	72	35	43%	13.6	78
下関	17	20%	6.3	57	20	22%	7.4	58	16	20%	6.0	54
長門	2	2%	5.6	53	0	0%	0	28	1	1%	2.8	44
萩	1	1%	1.9	36	1	1%	1.9	35	3	4%	5.7	53
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 35-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
山口県	84	1.1%	6.0	51	11	0.7%	0.8	45	35	0.8%	2.5	46
岩国	4	5%	2.8	41	2	18%	1.4	51	2	6%	1.4	41
柳井	1	1%	1.2	36	1	9%	1.2	49	0	0%	0	34
周南	10	12%	4.0	44	1	9%	0.4	41	3	9%	1.2	40
山口・防府	17	20%	5.4	49	1	9%	0.3	40	7	20%	2.2	45
宇部・小野田	36	43%	13.9	75	1	9%	0.4	41	21	60%	8.1	73
下関	16	19%	6.0	50	5	45%	1.9	56	2	6%	0.7	38
長門	0	0%	0	32	0	0%	0	37	0	0%	0	34
萩	0	0%	0	32	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 35-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテ ーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
山口県	15	0.7%	1.1	45	37	1.3%	2.6	53
岩国	2	13%	1.4	47	4	11%	2.8	54
柳井	0	0%	0	36	0	0%	0	35
周南	2	13%	0.8	43	4	11%	1.6	46
山口・防府	4	27%	1.3	46	9	24%	2.9	55
宇部・小野田	3	20%	1.2	45	12	32%	4.6	67
下関	4	27%	1.5	48	6	16%	2.2	50
長門	0	0%	0	36	1	3%	2.8	54
萩	0	0%	0	36	1	3%	1.9	48
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							



資\_図表 35-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
山口県	18,356	1.6%	1,307	64	14,789	1.6%	1,053	64	3,567	1.6%	254	61
岩国	1,600	9%	1,119	58	1,308	9%	914	58	292	8%	204	54
柳井	1,430	8%	1,765	80	1,265	9%	1,560	85	166	5%	204	54
周南	2,653	14%	1,053	55	2,064	14%	819	54	590	17%	234	58
山口・防府	3,615	20%	1,154	59	2,786	19%	889	57	830	23%	265	62
宇部・小野田	4,034	22%	1,562	73	3,408	23%	1,320	75	626	18%	242	59
下関	3,884	21%	1,447	69	2,997	20%	1,116	66	887	25%	330	71
長門	484	3%	1,366	66	440	3%	1,242	71	44	1%	124	42
萩	655	4%	1,235	62	521	4%	983	61	134	4%	252	60
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 35-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
山口県	2,202	1.6%	157	58	3,433	1.1%	244	50
岩国	154	7%	107	50	315	9%	220	48
柳井	90	4%	111	50	170	5%	210	47
周南	407	18%	161	59	633	18%	251	51
山口・防府	391	18%	125	53	787	23%	251	51
宇部・小野田	410	19%	159	59	738	21%	286	54
下関	655	30%	244	74	615	18%	229	48
長門	53	2%	150	57	78	2%	220	48
萩	44	2%	82	45	97	3%	183	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 35-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
山口県	148	1.0%	0.7	45	19	1.3%	0.1	49	154	1.3%	0.7	49
岩国	10	7%	0.4	39	2	11%	0.1	49	10	6%	0.4	36
柳井	15	10%	0.9	49	0	0%	0	37	7	5%	0.4	36
周南	14	9%	0.4	39	5	26%	0.1	56	19	12%	0.5	41
山口・防府	30	20%	0.7	45	4	21%	0.1	50	40	26%	0.9	59
宇部・小野田	40	27%	1.0	52	6	32%	0.1	58	33	21%	0.8	55
下関	33	22%	0.7	47	2	11%	0.0	44	36	23%	0.8	54
長門	2	1%	0.3	36	0	0%	0	37	4	3%	0.5	42
萩	4	3%	0.3	38	0	0%	0	37	5	3%	0.4	38
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 35-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
山口県	21,709	1.3%	95	44	13,832	1.4%	61	49	7,877	1.1%	35	44
岩国	2,487	11%	100	47	1,320	10%	53	43	1,167	15%	47	52
柳井	1,954	9%	111	53	1,540	11%	87	71	414	5%	24	37
周南	3,262	15%	89	40	2,050	15%	56	45	1,212	15%	33	43
山口・防府	4,365	20%	100	47	2,700	20%	62	50	1,665	21%	38	46
宇部・小野田	4,120	19%	102	48	2,249	16%	56	45	1,871	24%	46	52
下関	3,962	18%	88	40	2,729	20%	61	49	1,233	16%	27	40
長門	651	3%	85	38	520	4%	68	55	131	2%	17	33
萩	908	4%	79	34	724	5%	63	51	184	2%	16	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 35-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
山口県	4,854	1.3%	21	48	7,352	1.3%	32	46	1,626	3.1%	7.2	60
岩国	460	9%	19	43	860	12%	35	49	0	0%	0	42
柳井	500	10%	28	60	596	8%	34	48	444	27%	25.2	108
周南	852	18%	23	51	1,060	14%	29	43	138	8%	3.7	51
山口・防府	1,136	23%	26	56	1,377	19%	31	46	187	12%	4.3	53
宇部・小野田	790	16%	20	45	1,267	17%	31	46	192	12%	4.8	54
下関	846	17%	19	44	1,352	18%	30	44	531	33%	11.8	73
長門	180	4%	24	52	340	5%	45	59	0	0%	0	42
萩	90	2%	8	25	500	7%	43	58	134	8%	11.6	72
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
山口県	1,247	0.5%	5.5	41	660	2.8%	2.9	57	2,581	1.3%	11.4	48
岩国	353	28%	14.3	50	160	24%	6.5	74	369	14%	14.9	54
柳井	30	2%	1.7	38	50	8%	2.8	57	216	8%	12.3	50
周南	101	8%	2.7	39	170	26%	4.6	65	477	18%	13.0	51
山口・防府	227	18%	5.2	41	50	8%	1.1	49	484	19%	11.1	47
宇部・小野田	302	24%	7.5	43	180	27%	4.5	64	486	19%	12.1	49
下関	234	19%	5.2	41	0	0%	0	43	387	15%	8.6	43
長門	0	0%	0	36	0	0%	0	43	72	3%	9.4	45
萩	0	0%	0	36	50	8%	4.3	64	90	3%	7.8	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
山口県	3,389	1.4%	14.9	50	134	0.5%	0.6	45	3,255	1.5%	14.3	51
岩国	285	8%	11.5	45	0	0%	0	42	285	9%	11.5	47
柳井	118	3%	6.7	39	0	0%	0	42	118	4%	6.7	40
周南	464	14%	12.6	47	50	37%	1.4	49	414	13%	11.2	47
山口・防府	904	27%	20.7	58	0	0%	0	42	904	28%	20.7	60
宇部・小野田	903	27%	22.4	60	40	30%	1.0	47	863	27%	21.4	61
下関	612	18%	13.6	48	0	0%	0	42	612	19%	13.6	50
長門	59	2%	7.7	40	44	33%	5.8	72	15	0%	2.0	34
萩	44	1%	3.8	35	0	0%	0	42	44	1%	3.8	36
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 35-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
山口県	2,510	1.4%	11.0	51	1,854	1.6%	8.2	54	657	1.2%	2.9	46
岩国	179	7%	7.2	34	146	8%	5.9	43	32	5%	1.3	32
柳井	353	14%	20.0	92	323	17%	18.4	109	29	4%	1.7	35
周南	340	14%	9.2	43	249	13%	6.8	47	91	14%	2.5	42
山口・防府	514	20%	11.8	55	314	17%	7.2	49	201	31%	4.6	60
宇部・小野田	441	18%	10.9	51	295	16%	7.3	50	146	22%	3.6	52
下関	522	21%	11.6	54	394	21%	8.8	58	128	20%	2.8	45
長門	66	3%	8.7	41	51	3%	6.7	47	15	2%	2.0	38
萩	96	4%	8.3	39	81	4%	7.0	49	14	2%	1.2	31
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
山口県	20,315	1.3%	89	47	18,052	1.4%	79	50	2,263	1.0%	10.0	43
岩国	2,158	11%	87	45	1,954	11%	79	50	204	9%	8.2	40
柳井	1,529	8%	87	45	1,402	8%	80	50	127	6%	7.2	38
周南	3,416	17%	93	50	3,010	17%	82	52	407	18%	11.0	46
山口・防府	4,214	21%	96	53	3,682	20%	84	55	532	24%	12.2	48
宇部・小野田	3,538	17%	88	46	3,135	17%	78	49	403	18%	10.0	44
下関	3,911	19%	87	45	3,444	19%	77	47	467	21%	10.4	44
長門	634	3%	83	41	564	3%	74	45	70	3%	9.2	42
萩	915	5%	79	38	861	5%	75	46	53	2%	4.6	33
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
山口県	11,447	0.9%	50	43	5,280	1.0%	23	42	11,686	1.0%	51	43
岩国	1,067	9%	43	41	360	7%	15	36	1,119	10%	45	40
柳井	434	4%	25	36	313	6%	18	39	645	6%	37	37
周南	1,517	13%	41	40	842	16%	23	42	2,040	17%	55	44
山口・防府	2,353	21%	54	44	1,838	35%	42	56	2,503	21%	57	45
宇部・小野田	2,525	22%	63	46	829	16%	21	41	2,474	21%	61	47
下関	3,045	27%	68	48	782	15%	17	38	2,239	19%	50	42
長門	92	1%	12	32	148	3%	19	40	407	3%	53	44
萩	414	4%	36	39	168	3%	15	36	259	2%	22	31
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
山口県		1,492,606	1,404,729	-6%	1,292,809	-13%	6%	0%	6%
岩国	過疎地域型	156,143	143,042	-8%	127,489	-18%	4%	-2%	2%
柳井	地方都市型	91,515	81,062	-11%	69,187	-24%	-2%	-7%	-9%
周南	地方都市型	259,867	252,023	-3%	235,589	-9%	11%	3%	14%
山口・防府	地方都市型	316,115	313,364	-1%	308,125	-3%	10%	7%	17%
宇部・小野田	地方都市型	275,055	258,259	-6%	238,710	-13%	6%	1%	7%
下関	地方都市型	290,693	268,517	-8%	240,596	-17%	6%	-2%	3%
長門	過疎地域型	41,127	35,439	-14%	29,355	-29%	-2%	-7%	-9%
萩	過疎地域型	62,091	53,023	-15%	43,758	-30%	-3%	-10%	-12%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 35-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
山口県	151	10.1	58	145	10.3	59	-6	-4%
岩国	17	10.9	60	17	11.9	63	0	0%
柳井	10	10.9	60	9	11.1	61	-1	-10%
周南	22	8.5	54	24	9.5	57	2	9%
山口・防府	27	8.5	54	27	8.6	55	0	0%
宇部・小野田	31	11.3	61	29	11.2	62	-2	-6%
下関	31	10.7	59	26	9.7	58	-5	-16%
長門	6	14.6	69	6	16.9	76	0	0%
萩	7	11.3	61	7	13.2	67	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 35-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
山口県	1,326	89	56	1,263	90	55	-63	-5%
岩国	144	92	58	129	90	55	-15	-10%
柳井	78	85	55	70	86	53	-8	-10%
周南	228	88	56	212	84	52	-16	-7%
山口・防府	265	84	54	252	80	50	-13	-5%
宇部・小野田	250	91	57	243	94	57	-7	-3%
下関	273	94	59	278	104	62	5	2%
長門	29	71	47	26	73	46	-3	-10%
萩	59	95	60	53	100	60	-6	-10%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 35-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
山口県	3,578	240	53	3,465	247	50	-113	-3%
岩国	301	193	48	299	209	46	-2	-1%
柳井	194	212	50	165	204	45	-29	-15%
周南	466	179	46	501	199	45	35	8%
山口・防府	694	220	51	693	221	47	-1	0%
宇部・小野田	1,083	394	72	966	374	64	-117	-11%
下関	660	227	52	689	257	51	29	4%
長門	72	175	46	59	166	41	-13	-18%
萩	108	174	46	93	175	42	-15	-14%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 35-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
山口県	31,462	211	62	27,751	198	63	-3,711	-12%
岩国	2,604	167	54	2,435	170	58	-169	-6%
柳井	2,839	310	80	2,464	304	83	-375	-13%
周南	4,399	169	55	3,928	156	55	-471	-11%
山口・防府	5,578	176	56	4,984	159	56	-594	-11%
宇部・小野田	7,049	256	70	5,994	232	69	-1,055	-15%
下関	6,719	231	66	5,887	219	67	-832	-12%
長門	1,052	256	70	979	276	78	-73	-7%
萩	1,222	197	60	1,080	204	64	-142	-12%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 35-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
山口県	14,289	96	54	12,644	90	55	-1,645	-12%
岩国	1,284	82	49	1,156	81	52	-128	-10%
柳井	1,001	109	59	974	120	67	-27	-3%
周南	2,452	94	54	1,944	77	50	-508	-21%
山口・防府	2,585	82	49	2,405	77	50	-180	-7%
宇部・小野田	3,120	113	61	2,754	107	61	-366	-12%
下関	2,909	100	56	2,640	98	58	-269	-9%
長門	460	112	60	410	116	65	-50	-11%
萩	478	77	48	361	68	47	-117	-24%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							



資\_図表 35-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

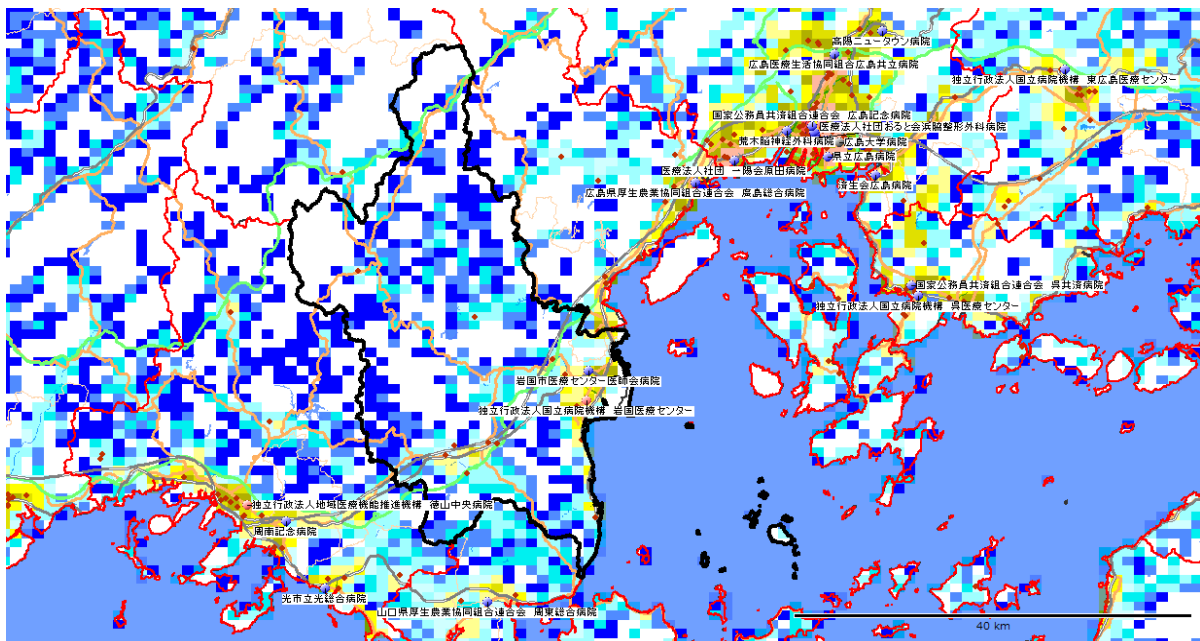
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
山口県	10,669	59	65	9,119	40	68	-1,550	-15%
岩国	745	38	54	754	30	59	9	1%
柳井	1,160	71	72	1,060	60	86	-100	-9%
周南	1,304	47	58	1,363	37	65	59	5%
山口・防府	1,759	52	61	1,404	32	61	-355	-20%
宇部・小野田	2,240	69	71	1,665	41	69	-575	-26%
下関	2,663	76	75	2,108	47	74	-555	-21%
長門	266	40	55	243	32	61	-23	-9%
萩	532	53	62	522	45	73	-10	-2%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 35-1. いわくに 岩国医療圏

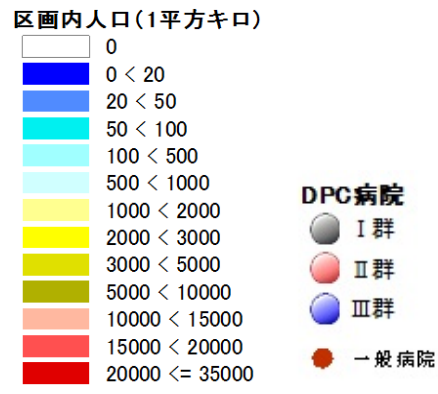
構成市区町村 [岩国市](#) [和木町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (岩国医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 岩国(岩国市)は、総人口約143千人(2015年)、面積884km<sup>2</sup>、人口密度は162人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 岩国の総人口は2025年に127千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に103千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて30千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には27千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 岩国の一人当たり医療費(国保)は431千円(偏差値67)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 岩国の一人当たり急性期医療密度指数は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数は5.84で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。岩国には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNH0岩国医療センター(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 岩国の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,487人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,320床(偏差値43)、高齢者住宅等が1,167床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,954人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム50、軽費ホーム74、グループホーム54、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、204人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (岩国医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

岩国医療圏の総人口は、2005年156,143人が、2015年に143,042人と8%減少し、2025年の人口が127,489人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

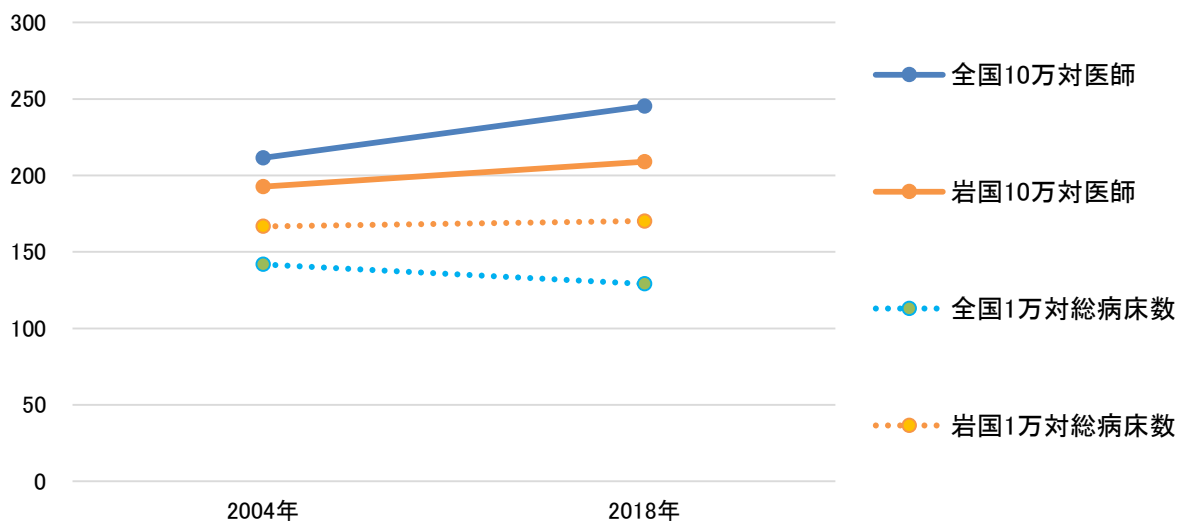
2004年の病院数が17(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2018年に17(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2018年に129(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,604床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値54)であったが、2018年に2,435床(人口1万人当たり170(全国平均129)偏差値58)と、169床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

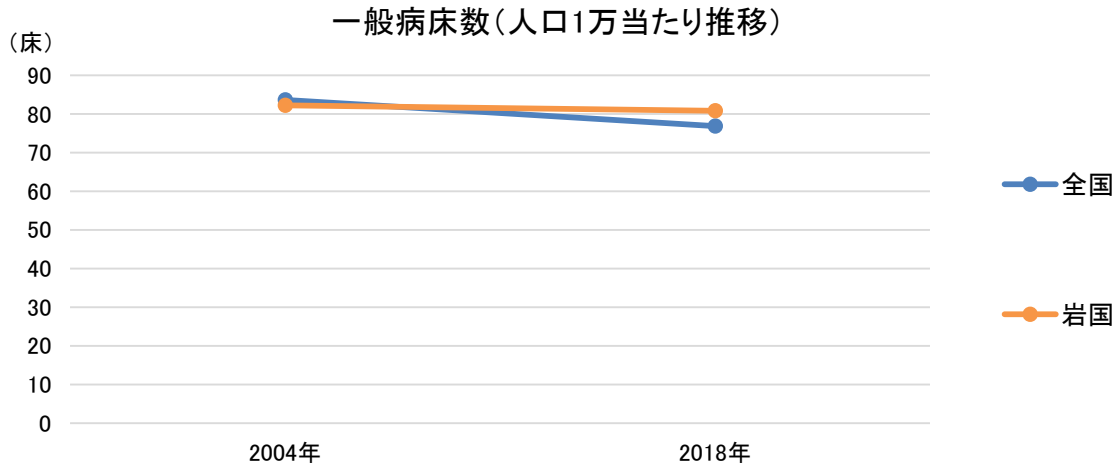
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が301人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2018年に299人(人口10万人当たり209人(全国平均245人)偏差値46)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



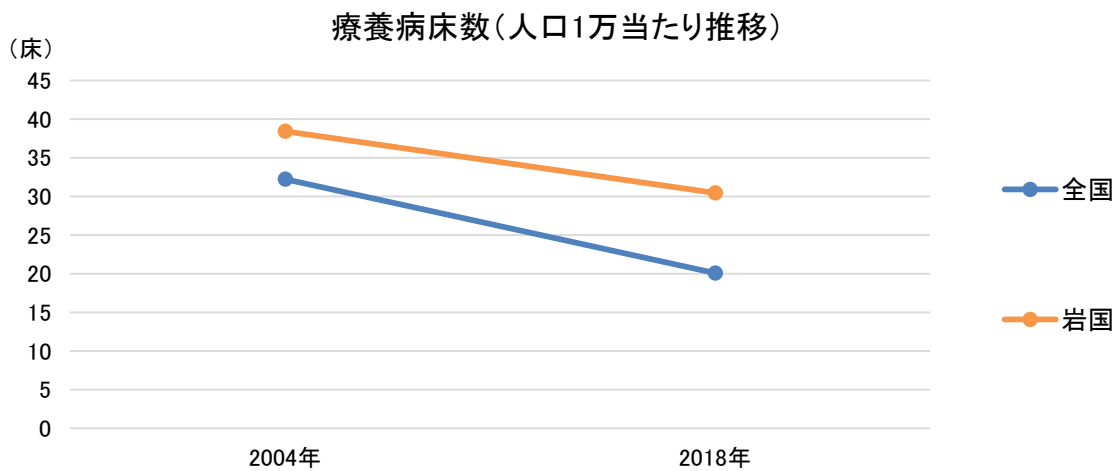
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,284床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2018年に1,156床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値52)と、128床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



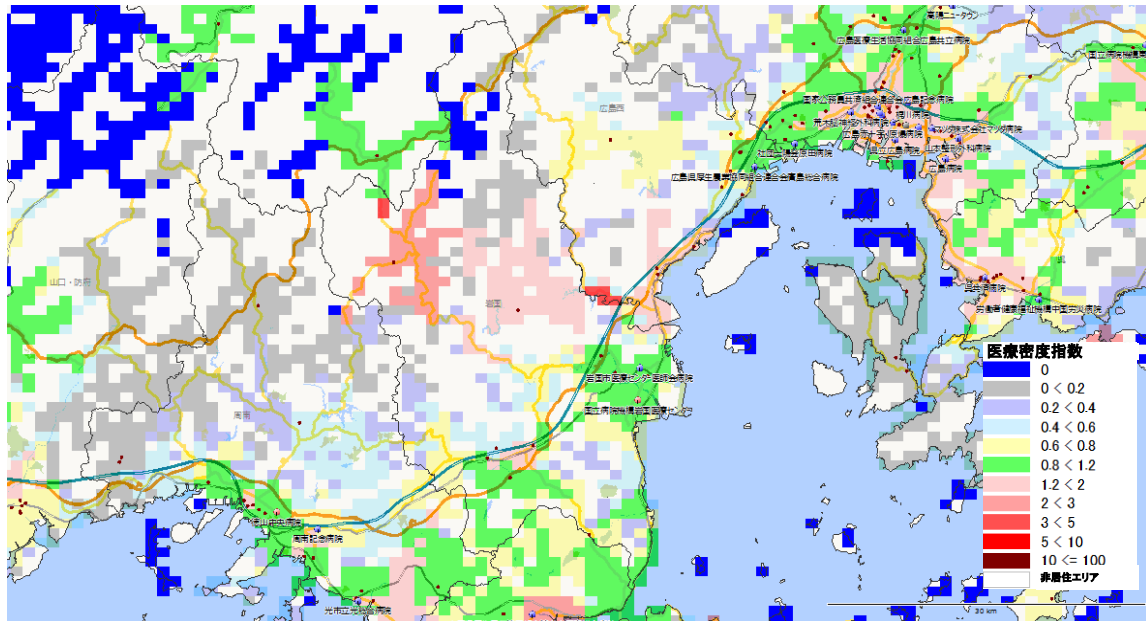
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が745床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均32)偏差値54)であったが、2018年に754床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均20)偏差値59)と、9床の増加、率にして1%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



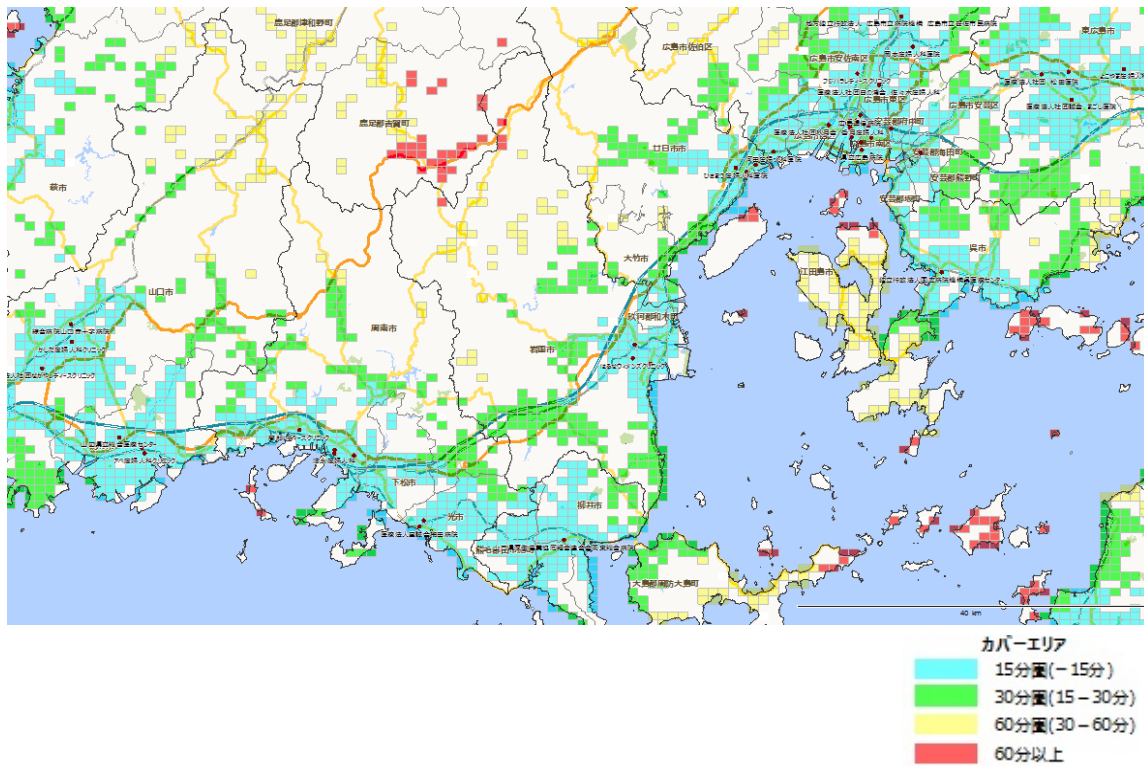
(岩国医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

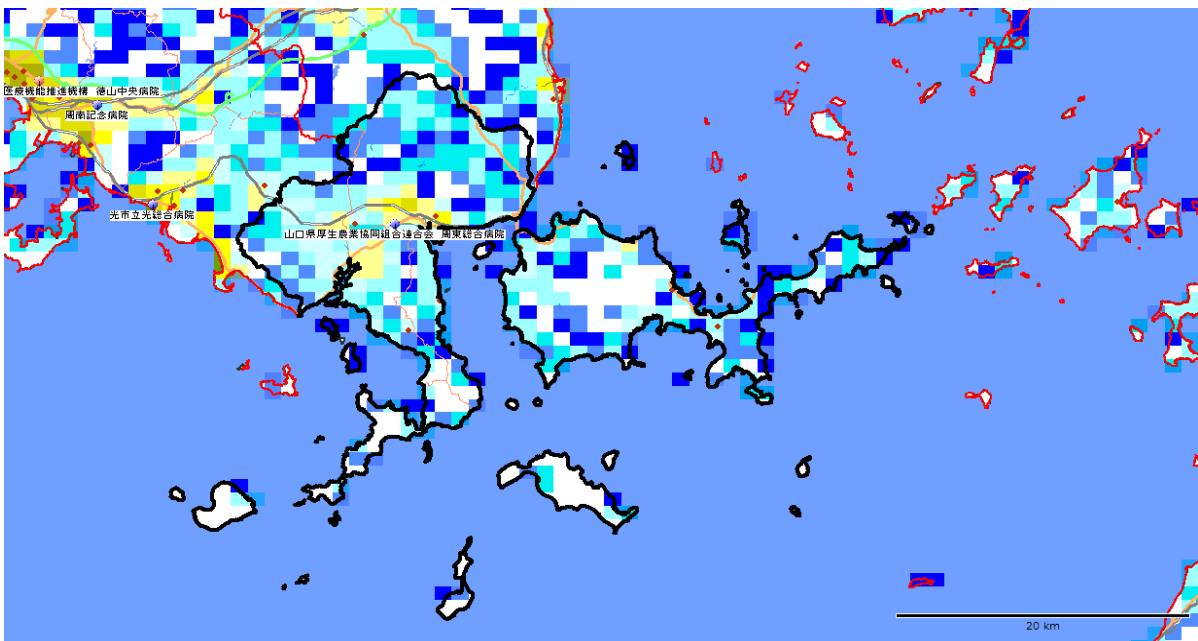


## 35-2. やない柳井医療圏

構成市区町村 [柳井市](#) [周防大島町](#) [上関町](#) [田布施町](#)  
[平生町](#)

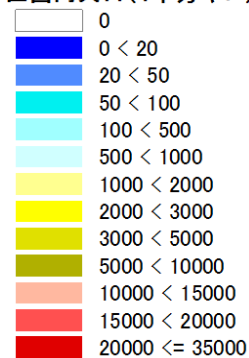
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

### 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

#### 区画内人口(1平方キロ)



#### DPC病院



## (柳井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 柳井(柳井市)は、総人口約81千人(2015年)、面積398km<sup>2</sup>、人口密度は204人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 柳井の総人口は2025年に69千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に53千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 柳井の一人当たり医療費(国保)は450千円(偏差値72)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 柳井の一人当たり急性期医療密度指数は1.15、一人当たり慢性期医療密度指数は1.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は80と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。柳井には、年間全身麻酔件数が500例以上の周東総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は102と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は63で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 柳井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,954人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,540床(偏差値71)、高齢者住宅等が414床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,402人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設108、有料老人ホーム38、軽費ホーム57、グループホーム50、サ高住39である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、127人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。



## (柳井医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

柳井医療圏の総人口は、2005年91,515人が、2015年に81,062人と11%減少し、2025年の人口が69,187人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

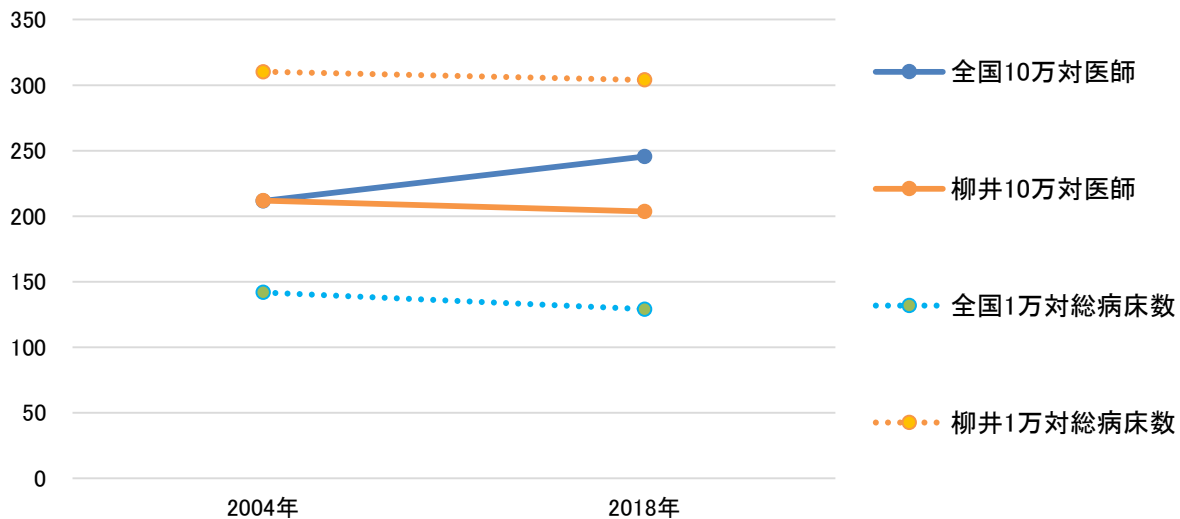
2004年の病院数が10(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2018年に9(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2018年に70(人口10万人当たり86診療所(全国平均80)偏差値53)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,839床(人口1万人当たり310(全国平均142)偏差値80)であったが、2018年に2,464床(人口1万人当たり304(全国平均129)偏差値83)と、375床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

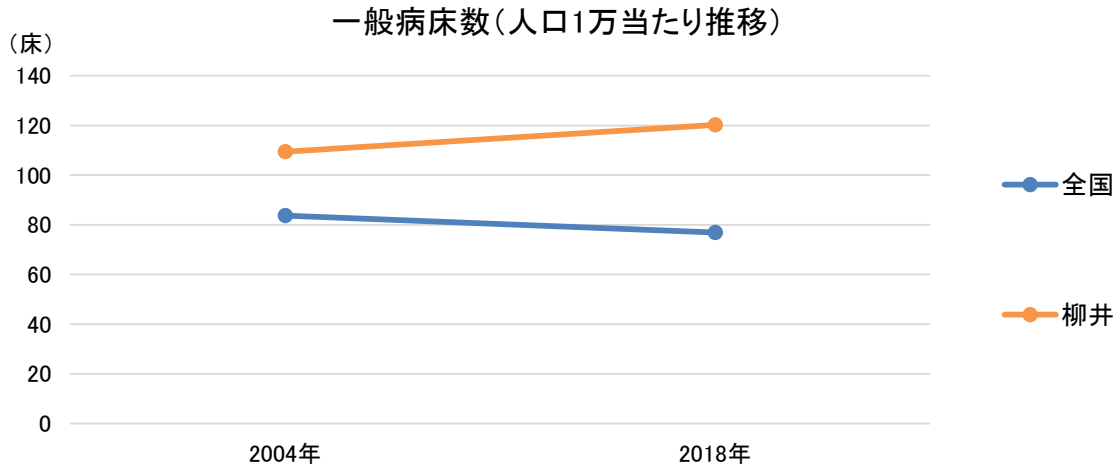
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が194人(人口10万人当たり212人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2018年に165人(人口10万人当たり204人(全国平均245人)偏差値45)と、29人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



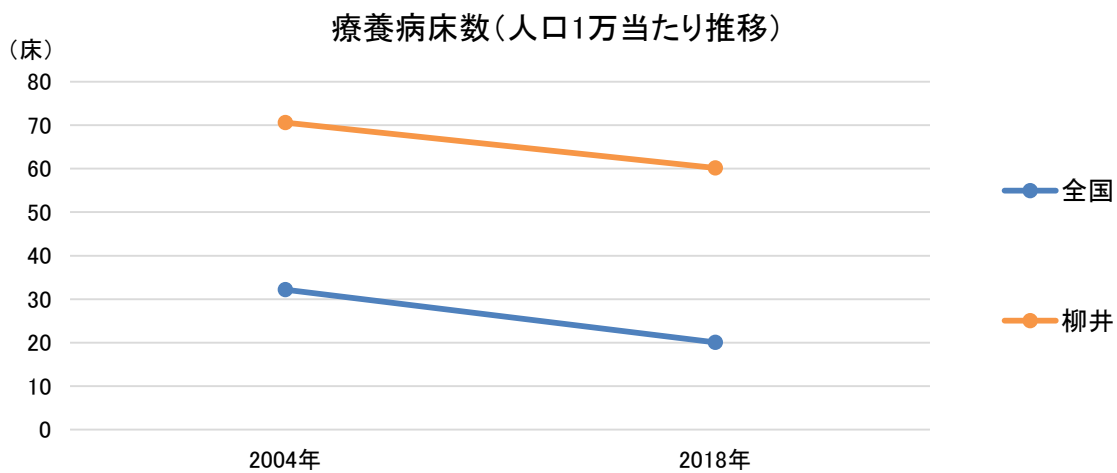
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,001床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2018年に974床(人口1万人当たり120(全国平均77)偏差値67)と、27床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



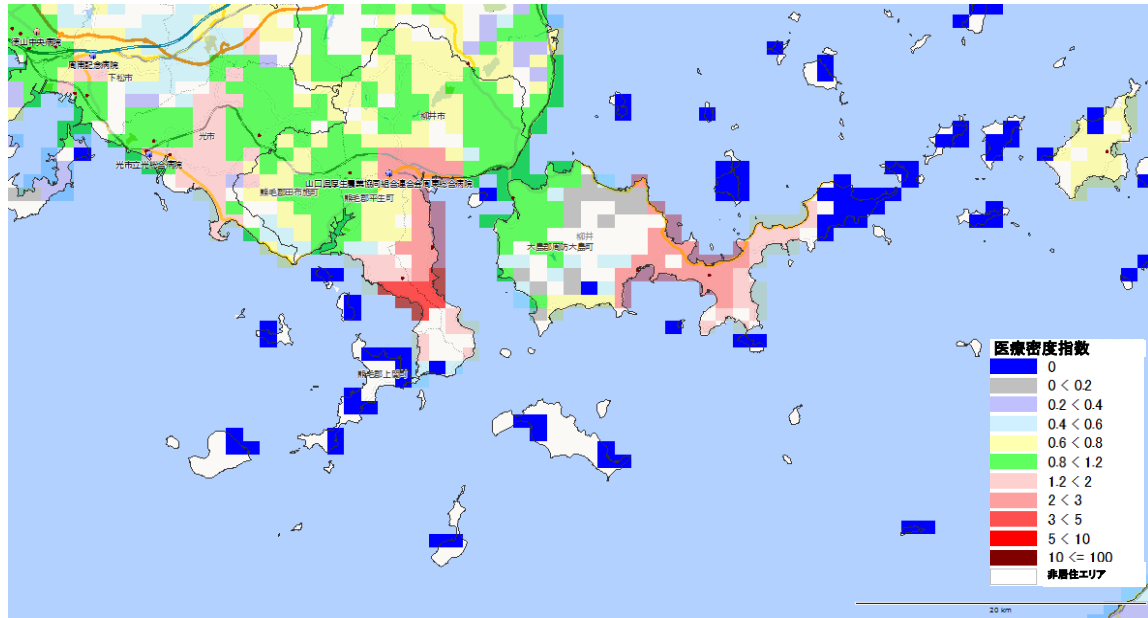
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,160床(75歳以上1,000人当たり71(全国平均32)偏差値72)であったが、2018年に1,060床(75歳以上1,000人当たり60(全国平均20)偏差値86)と、100床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



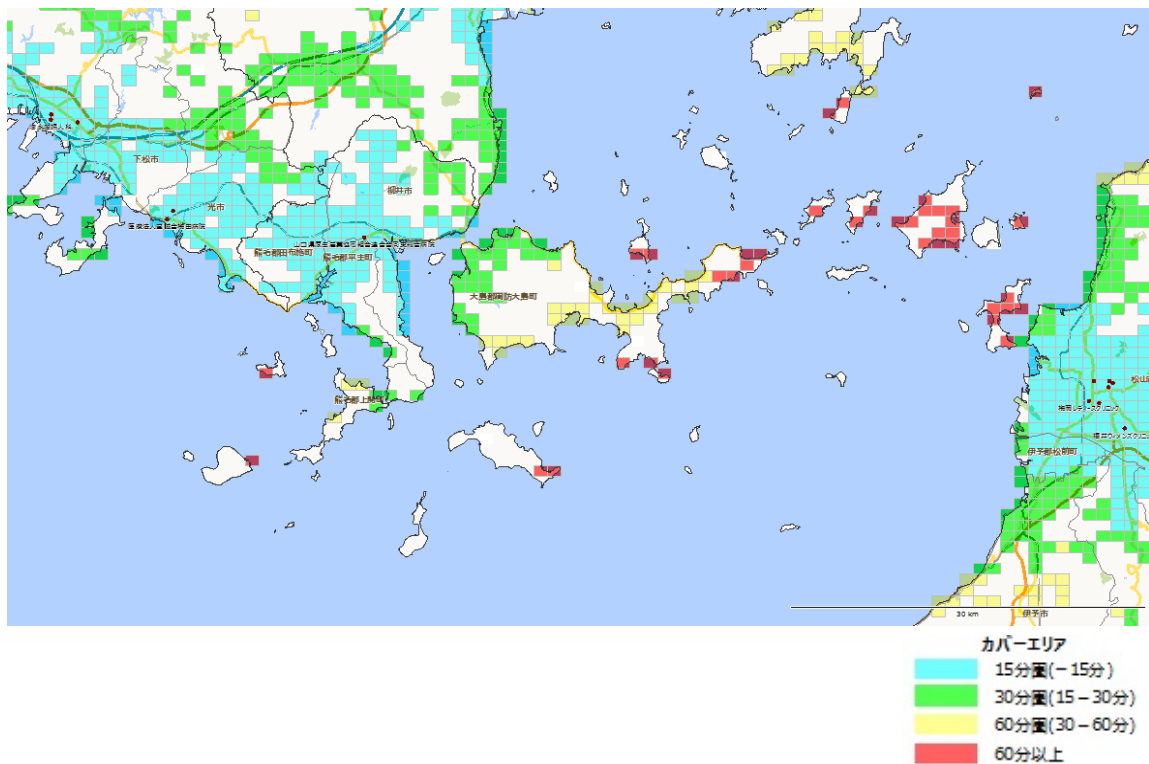
## (柳井医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

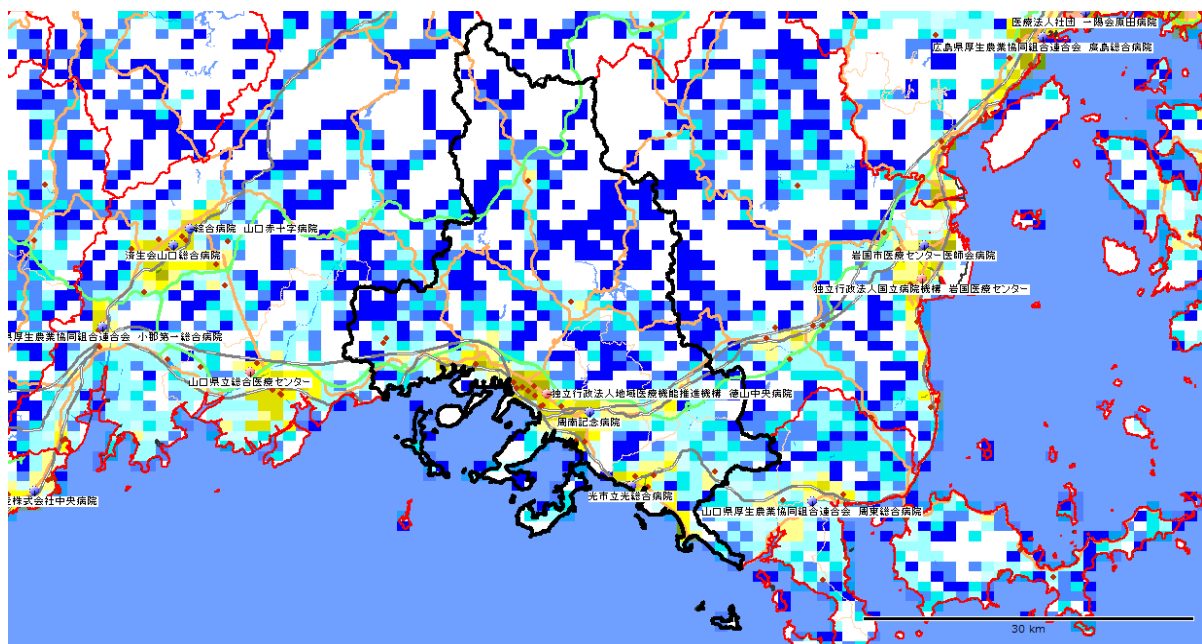


# 35-3. しゅうなん 周南医療圏

構成市区町村 [下松市](#) [光市](#) [周南市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (周南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 周南(下松市)は、総人口約252千人(2015年)、面積838km<sup>2</sup>、人口密度は301人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 周南の総人口は2025年に236千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に204千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて50千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には44千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 周南の一人当たり医療費(国保)は406千円(偏差値61)、介護給付費は229千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 周南の一人当たり急性期医療密度指数は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は2.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。周南には、年間全身麻酔件数が2000例以上のJCHO徳山中央病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 周南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,262人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,050床(偏差値45)、高齢者住宅等が1,212床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,010人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム39、軽費ホーム65、グループホーム51、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、407人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-39%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (周南医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

周南医療圏の総人口は、2005年259,867人が、2015年に252,023人と3%減少し、2025年の人口が235,589人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

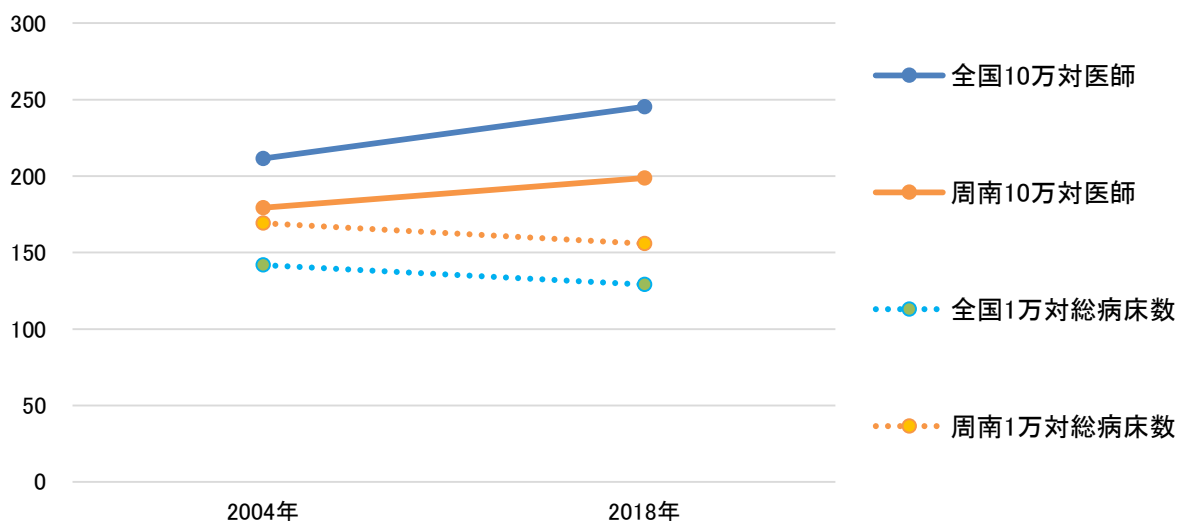
2004年の病院数が22(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に24(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、14年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が228(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に212(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、16診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,399床(人口1万人当たり169(全国平均142)偏差値55)であったが、2018年に3,928床(人口1万人当たり156(全国平均129)偏差値55)と、471床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

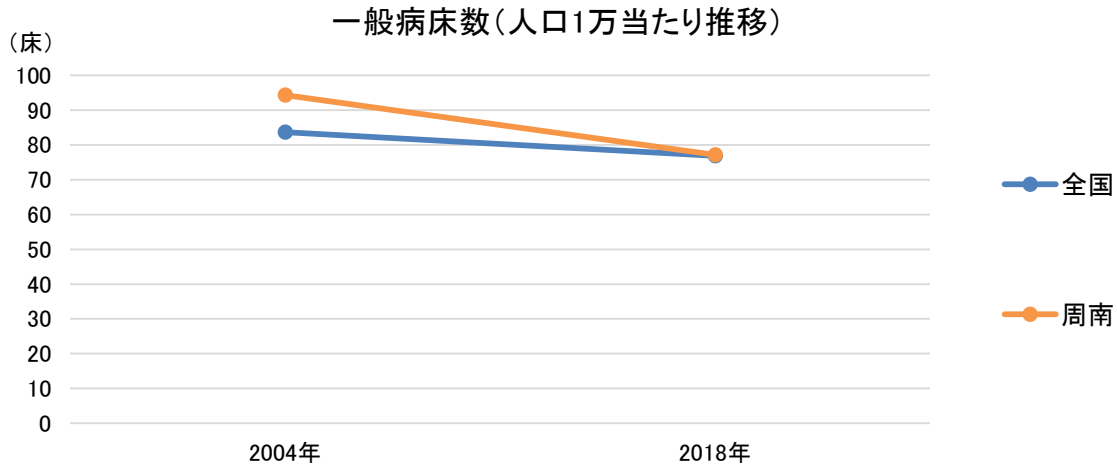
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が466人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に501人(人口10万人当たり199人(全国平均245人)偏差値45)と、35人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



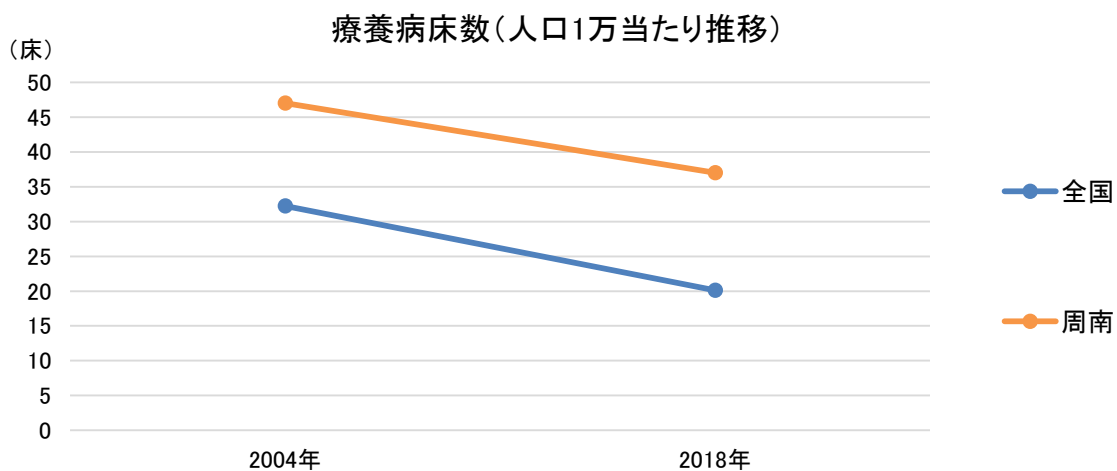
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,452床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に1,944床(人口1万人当たり77(全国平均77)偏差値50)と、508床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



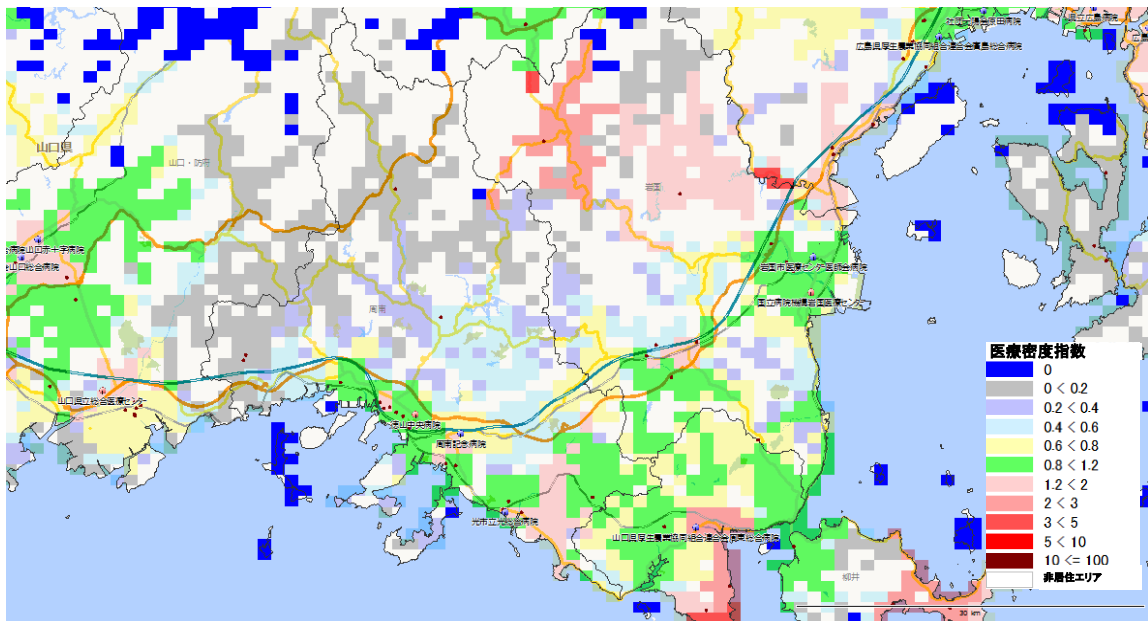
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,304床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2018年に1,363床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値65)と、59床の増加、率にして5%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



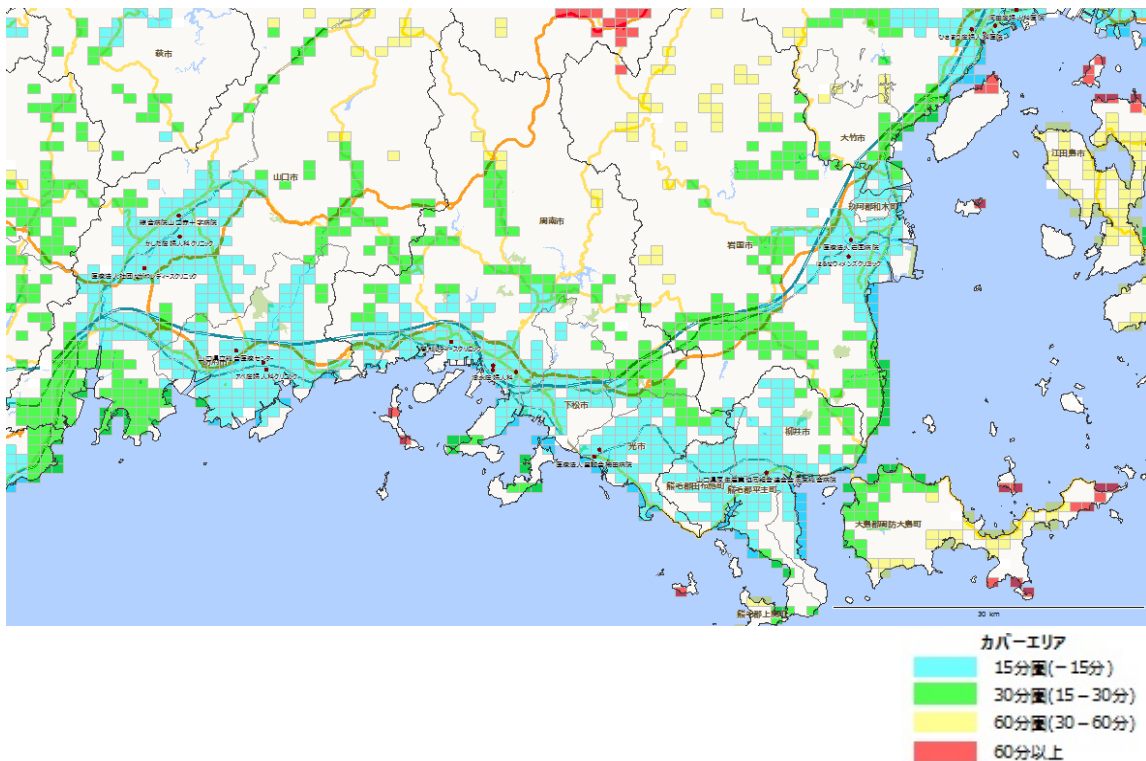
(周南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



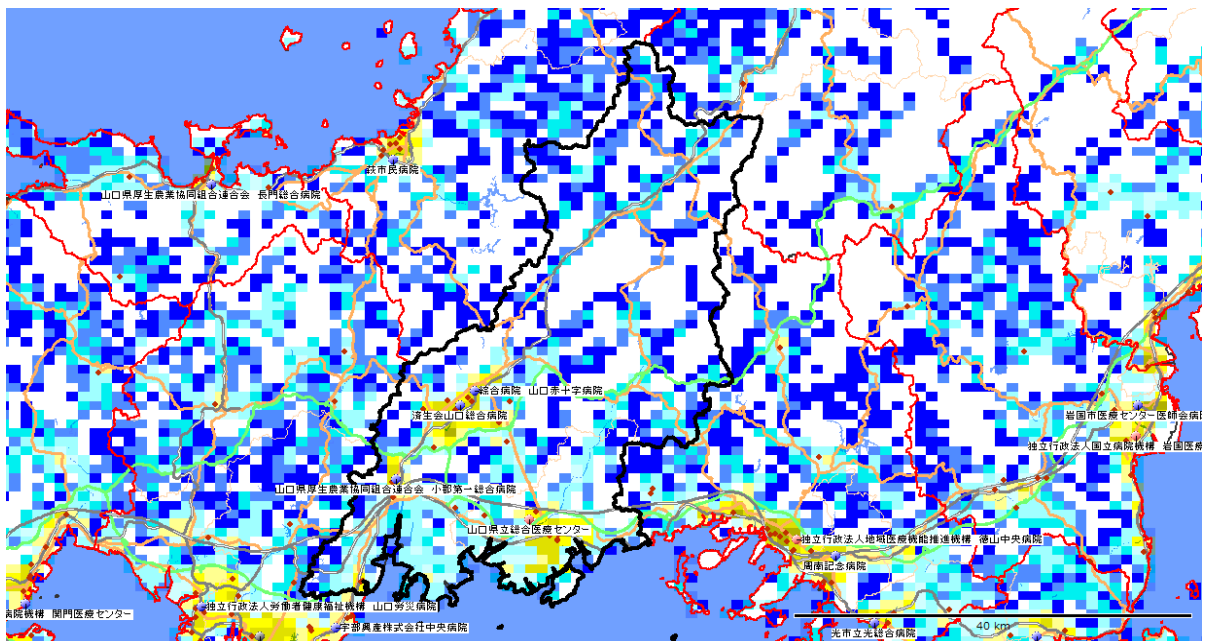


# 35-4. やまぐち ほうふ 山口・防府医療圏

構成市区町村 [山口市](#) [防府市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (山口・防府医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 山口・防府(山口市)は、総人口約313千人(2015年)、面積1,213km<sup>2</sup>、人口密度は258人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 山口・防府の総人口は2025年に308千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に288千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて58千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には60千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 山口・防府の一人当たり医療費(国保)は441千円(偏差値69)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 山口・防府の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は2.47で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は56と多い。山口・防府には、年間全身麻酔件数が1000例以上の山口県立総合医療センター(Ⅲ群・救命)、山口赤十字病院(Ⅲ群)、済生会山口総合病院(Ⅱ群)、500例以上の小郡第一総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 山口・防府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,365人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,700床(偏差値50)、高齢者住宅等が1,665床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,682人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム41、軽費ホーム49、グループホーム47、サ高住58である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、532人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (山口・防府医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

山口・防府医療圏の総人口は、2005年316,115人が、2015年に313,364人と1%減少し、2025年の人口が308,125人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

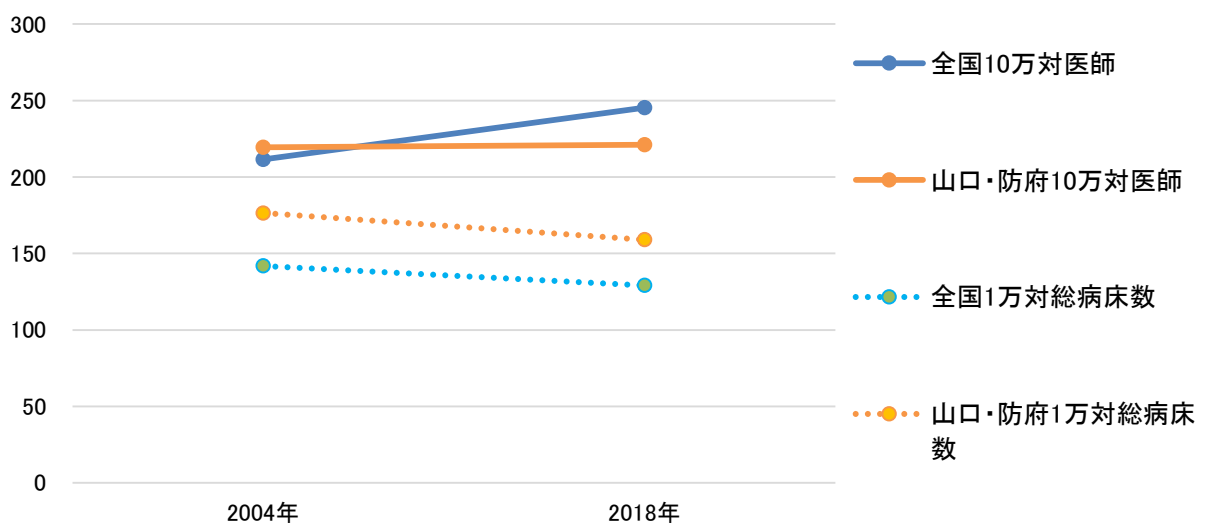
2004年の病院数が27(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に27(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2018年に252(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、13診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,578床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に4,984床(人口1万人当たり159(全国平均129)偏差値56)と、594床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

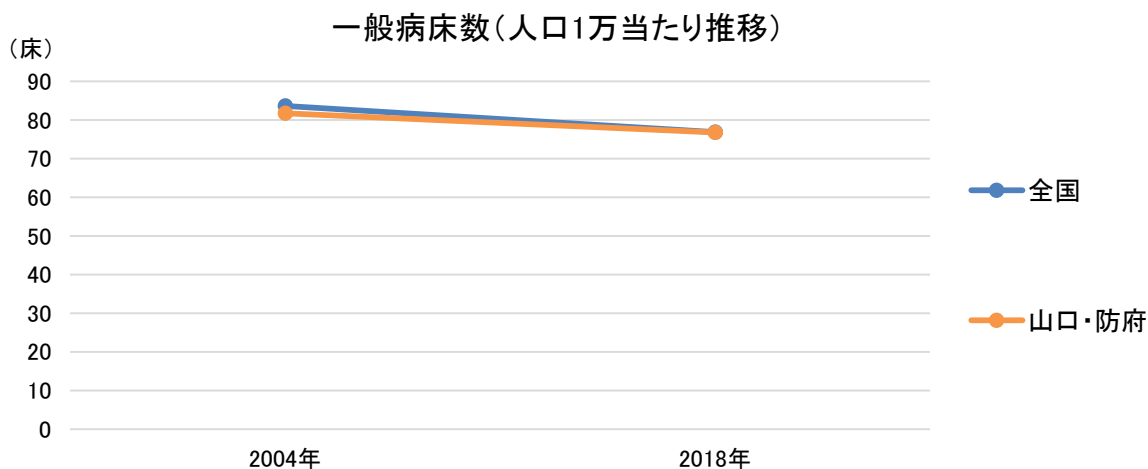
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が694人(人口10万人当たり220人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に693人(人口10万人当たり221人(全国平均245人)偏差値47)と、1人の減少、率にして1%未満の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



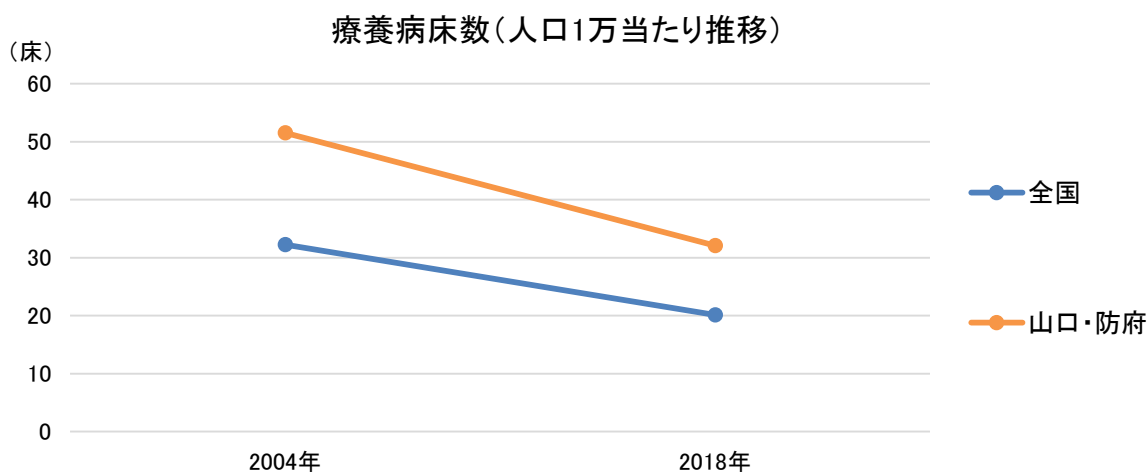
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,585床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2018年に2,405床(人口1万人当たり77(全国平均77)偏差値50)と、180床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



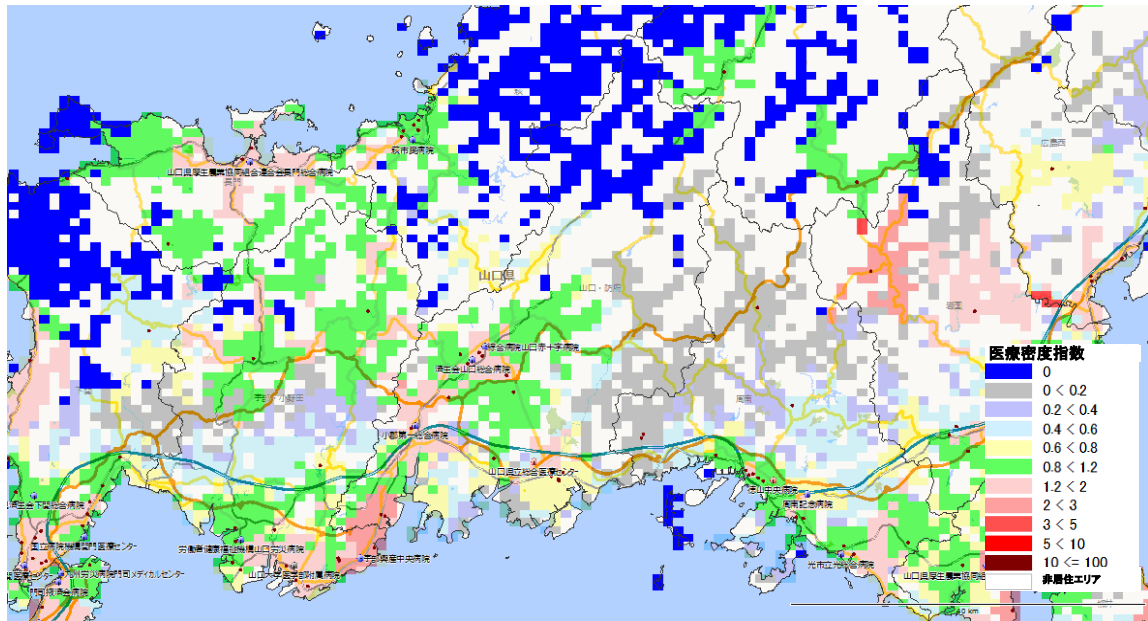
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,759床(75歳以上1,000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2018年に1,404床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均20)偏差値61)と、355床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



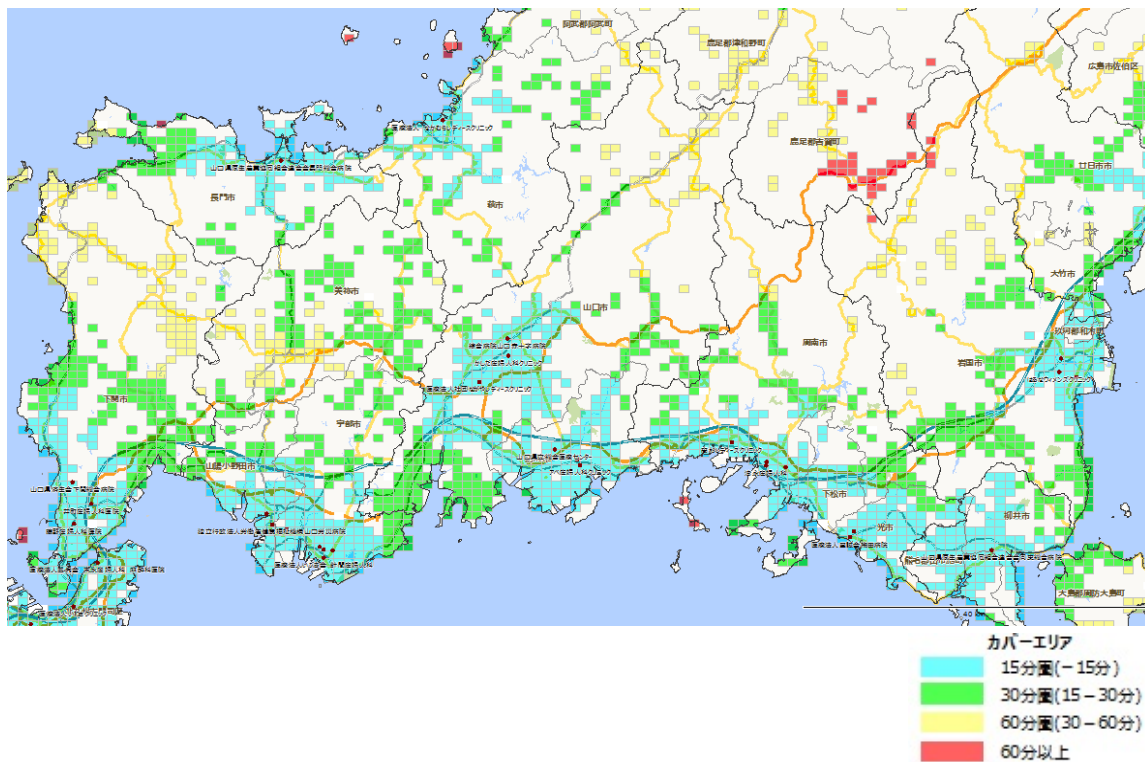
(山口・防府医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

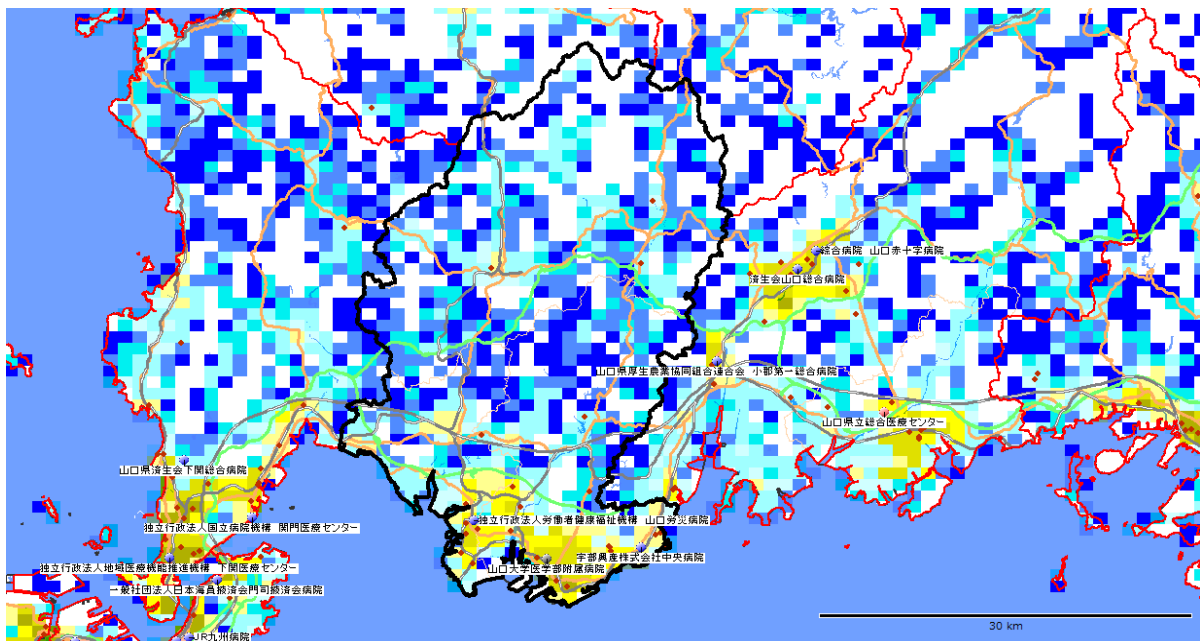


# 35-5. う べ お の だ 宇部・小野田医療圏

構成市区町村 [宇部市](#) [美祿市](#) [山陽小野田市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

## (宇部・小野田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：**宇部・小野田(宇部市)は、総人口約258千人(2015年)、面積892km<sup>2</sup>、人口密度は289人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：**宇部・小野田の総人口は2025年に239千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に204千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて50千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：**宇部・小野田の一人当たり医療費(国保)は474千円(偏差値77)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：**宇部・小野田の一人当たり急性期医療密度指数は1.26、一人当たり慢性期医療密度指数は3.08で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：**総医師数の偏差値が64(病院医師数65、診療所医師数57)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：**人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。宇部・小野田には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山口大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の山口労災病院(III群)、500例以上の宇部興産中央病院(III群)がある。

**\*療養病床の現状：**人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：**総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

**\*精神病床の現状：**人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：**人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：**宇部・小野田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,120人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,249床(偏差値45)、高齢者住宅等が1,871床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,135人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム43、軽費ホーム64、グループホーム49、サ高住60である。

**\*在宅ケアの現状：**在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、403人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：**2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (宇部・小野田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

宇部・小野田医療圏の総人口は、2005年275,055人が、2015年に258,259人と6%減少し、2025年の人口が238,710人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

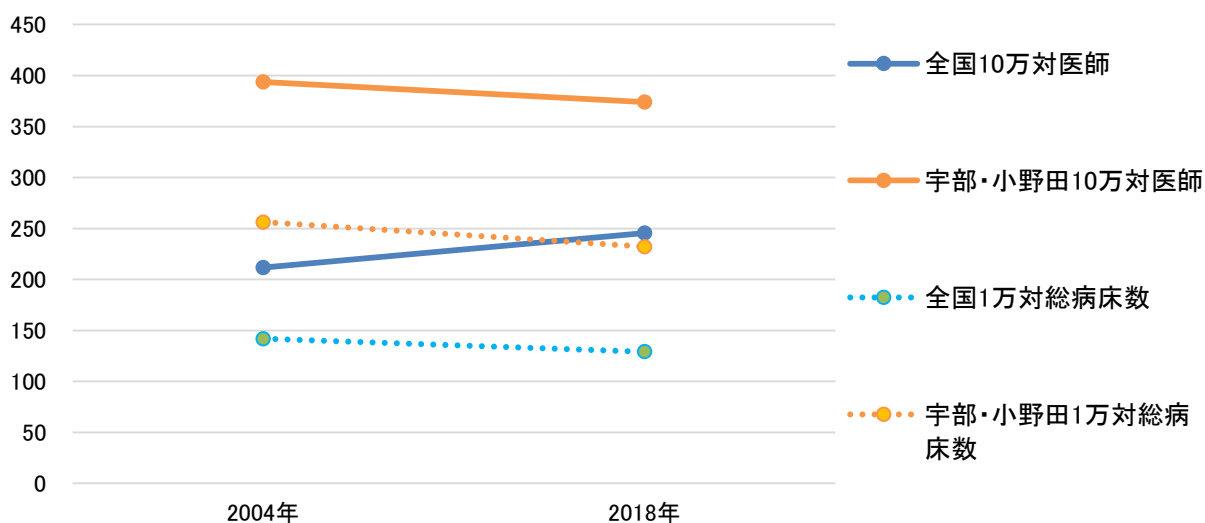
2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に29(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.6)偏差値62)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が250(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2018年に243(人口10万人当たり94診療所(全国平均80)偏差値57)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,049床(人口1万人当たり256(全国平均142)偏差値70)であったが、2018年に5,994床(人口1万人当たり232(全国平均129)偏差値69)と、1,055床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,083人(人口10万人当たり394人(全国平均212人)偏差値72)であったが、2018年に966人(人口10万人当たり374人(全国平均245人)偏差値64)と、117人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

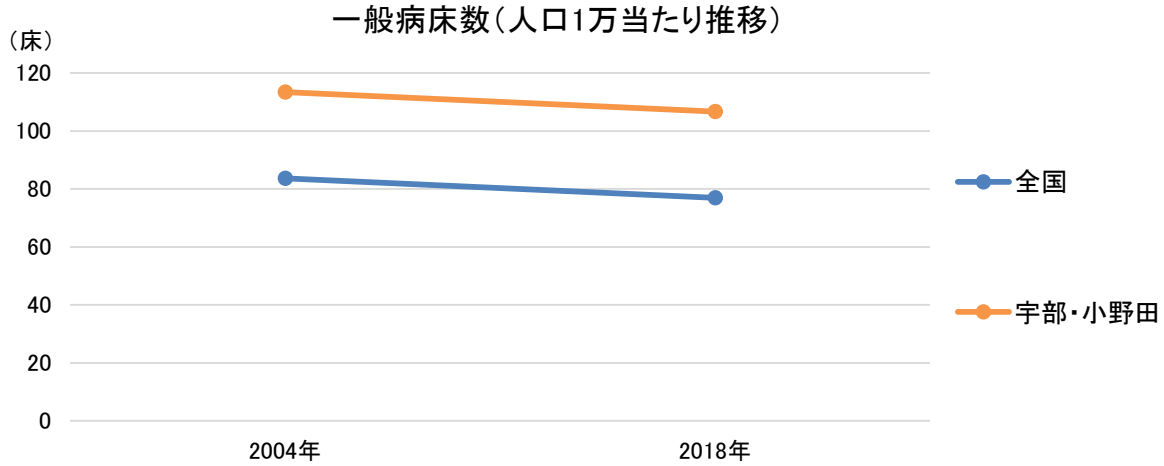
人口当たり医師数・総病床数の推移





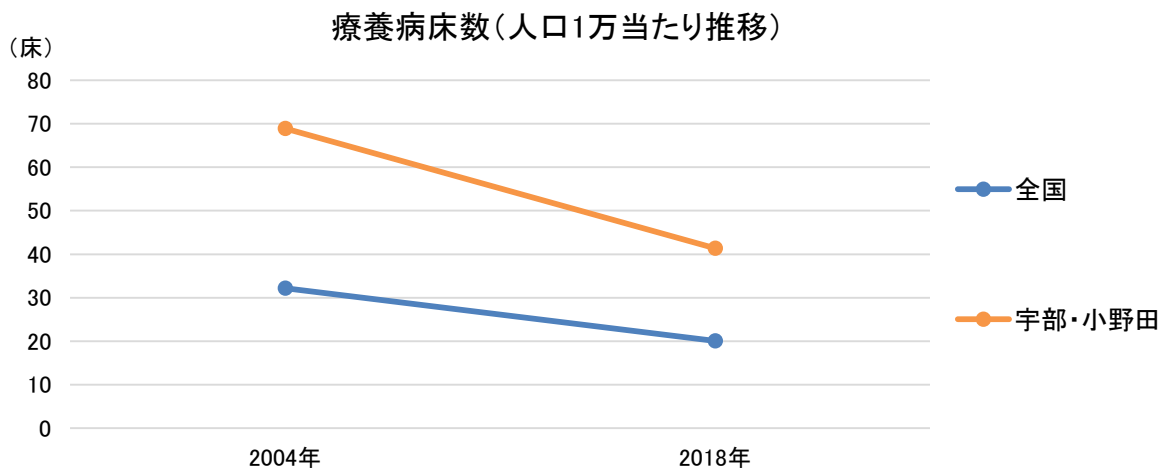
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,120床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値61)であったが、2018年に2,754床(人口1万人当たり107(全国平均77)偏差値61)と、366床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



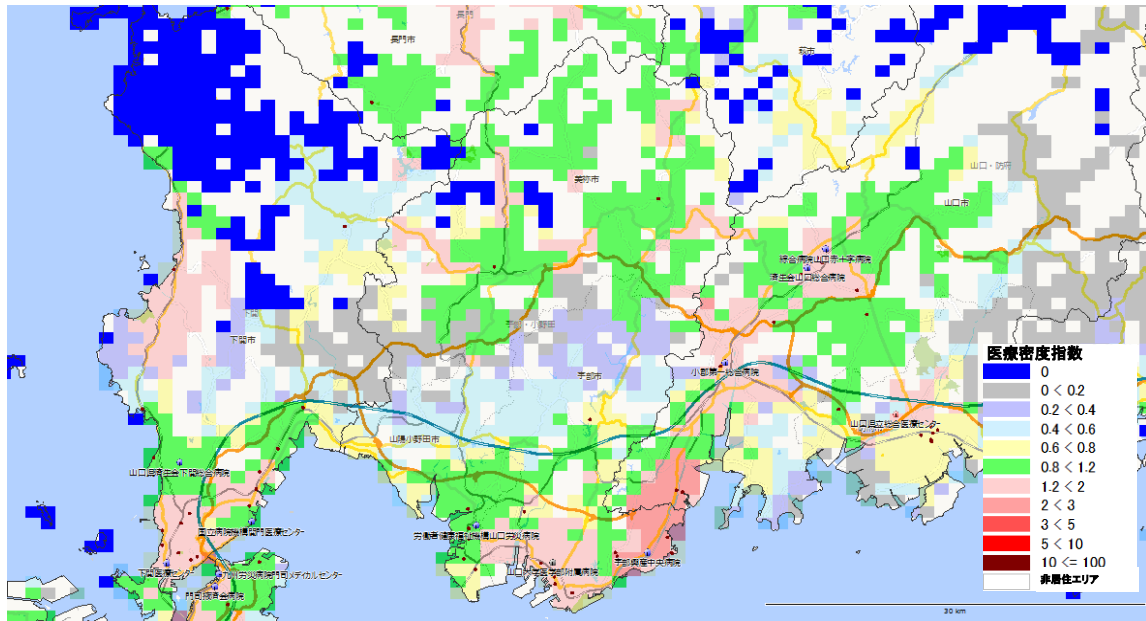
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,240床(75歳以上1,000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2018年に1,665床(75歳以上1,000人当たり41(全国平均20)偏差値69)と、575床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



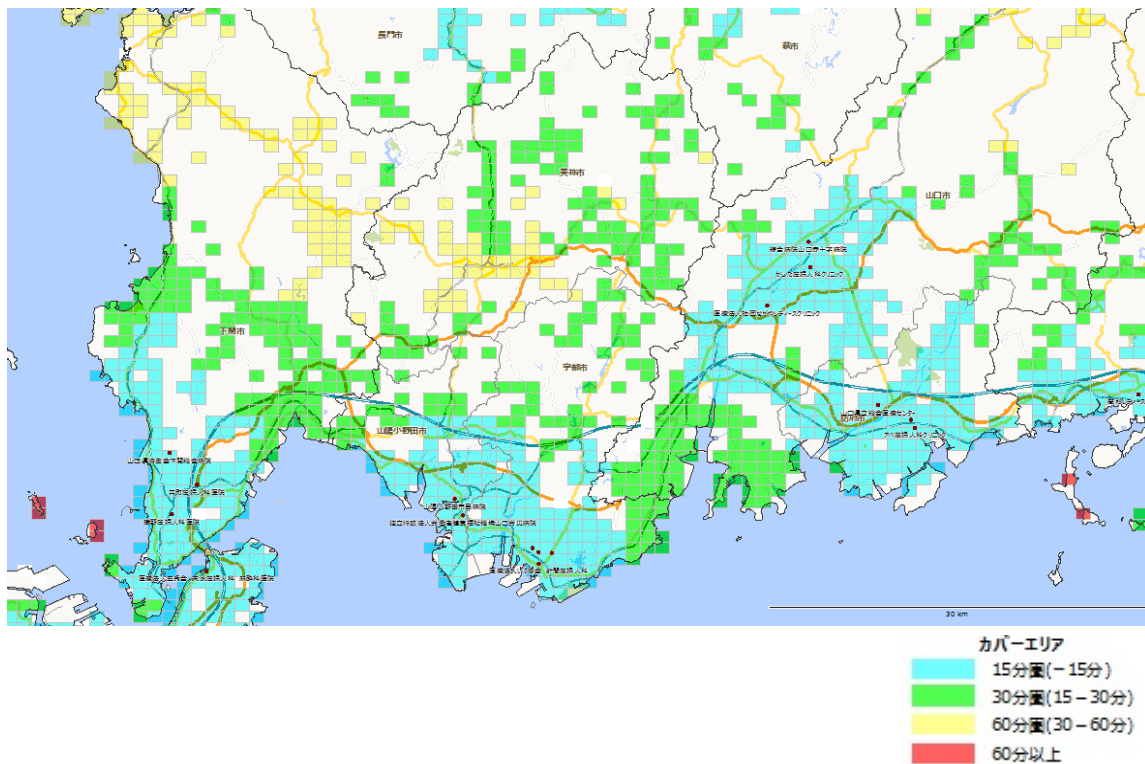
(宇部・小野田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

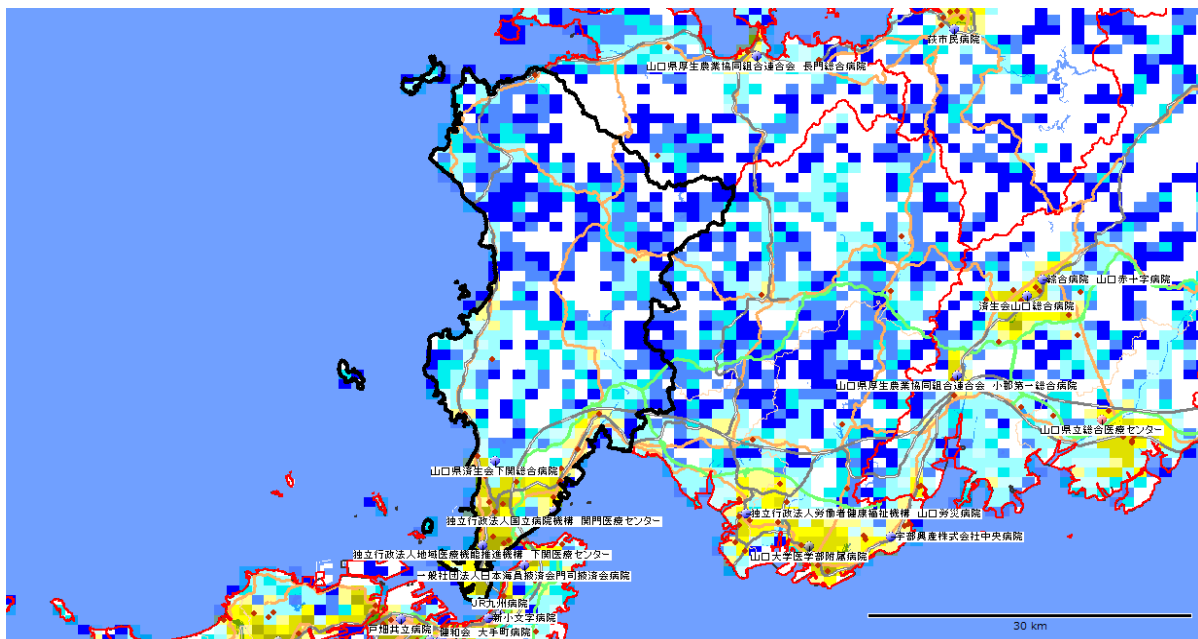


# 35-6. しものせき 下関医療圏

構成市区町村 [下関市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



## (下関医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 下関(下関市)は、総人口約269千人(2015年)、面積716km<sup>2</sup>、人口密度は375人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 下関の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に196千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には47千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 下関の一人当たり医療費(国保)は453千円(偏差値72)、介護給付費は255千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 下関の一人当たり急性期医療密度指数は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数は2.94で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数49、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。下関には、年間全身麻酔件数が1000例以上の下関市立市民病院(Ⅲ群)、下関総合病院(Ⅲ群)、500例以上のNHQ関門医療センター(Ⅲ群・救命)、JCHO下関医療センター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は76と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値74と非常に多く、回復期病床数は偏差値72と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 下関の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,962人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,729床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,233床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,444人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設73、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、467人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (下関医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

下関医療圏の総人口は、2005年290,693人が、2015年に268,517人と8%減少し、2025年の人口が240,596人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

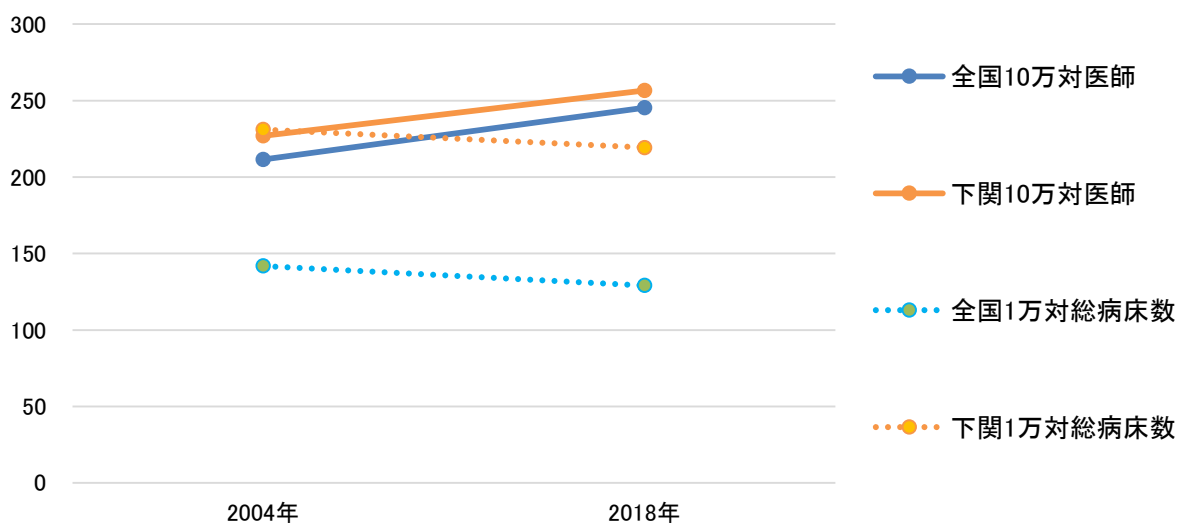
2004年の病院数が31(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に26(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が273(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2018年に278(人口10万人当たり104診療所(全国平均80)偏差値62)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が6,719床(人口1万人当たり231(全国平均142)偏差値66)であったが、2018年に5,887床(人口1万人当たり219(全国平均129)偏差値67)と、832床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

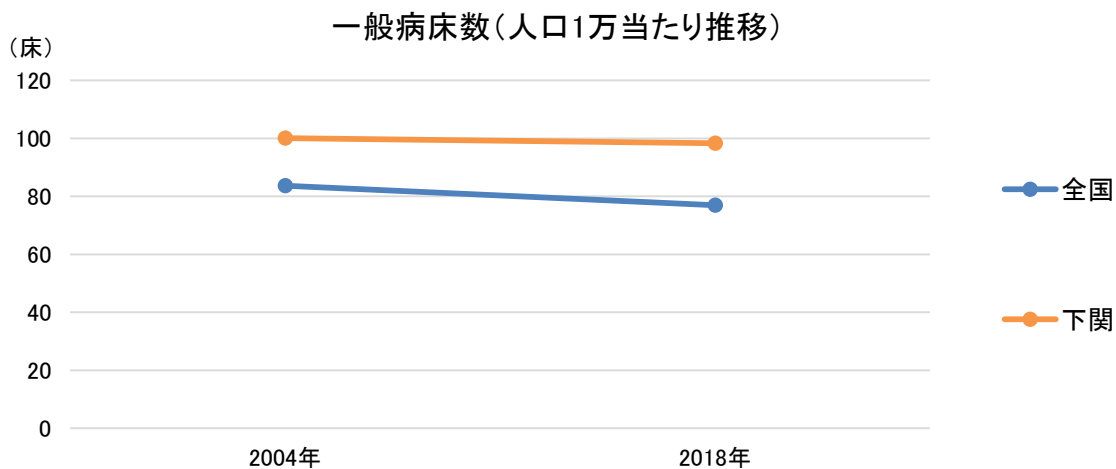
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が660人(人口10万人当たり227人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2018年に689人(人口10万人当たり257人(全国平均245人)偏差値51)と、29人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



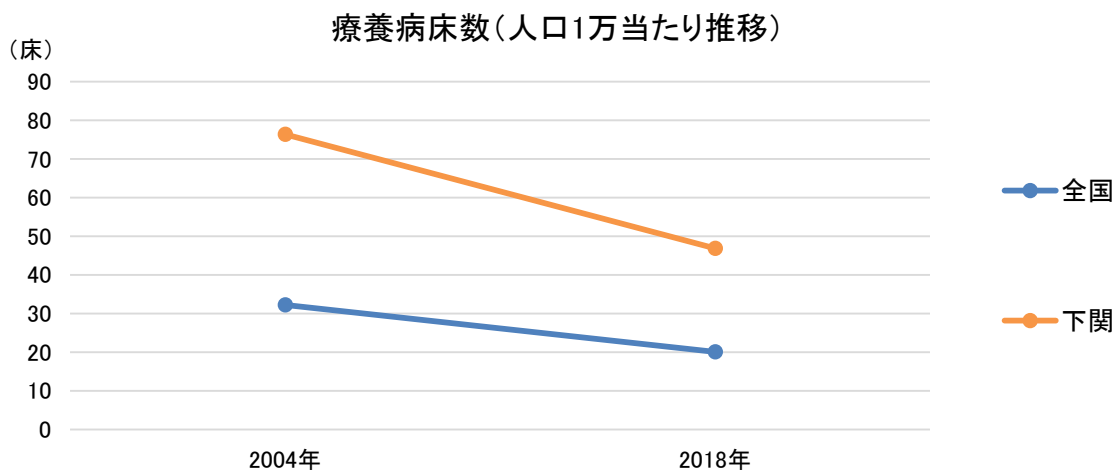
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,909床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2018年に2,640床(人口1万人当たり98(全国平均77)偏差値58)と、269床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



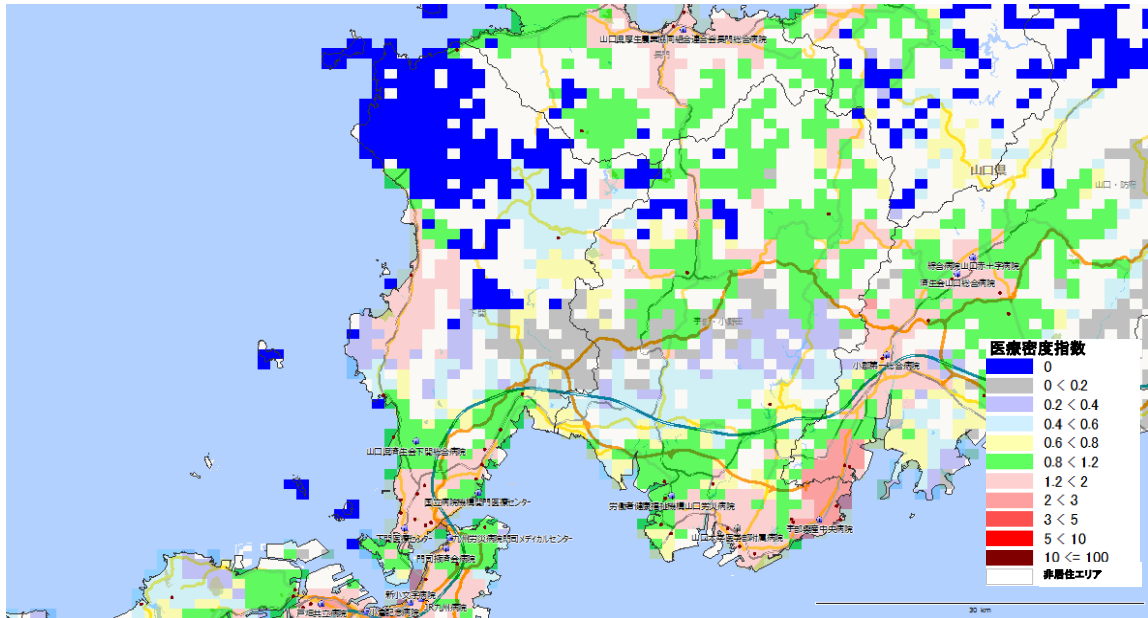
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,663床(75歳以上1,000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2018年に2,108床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均20)偏差値74)と、555床の減少、率にして21%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



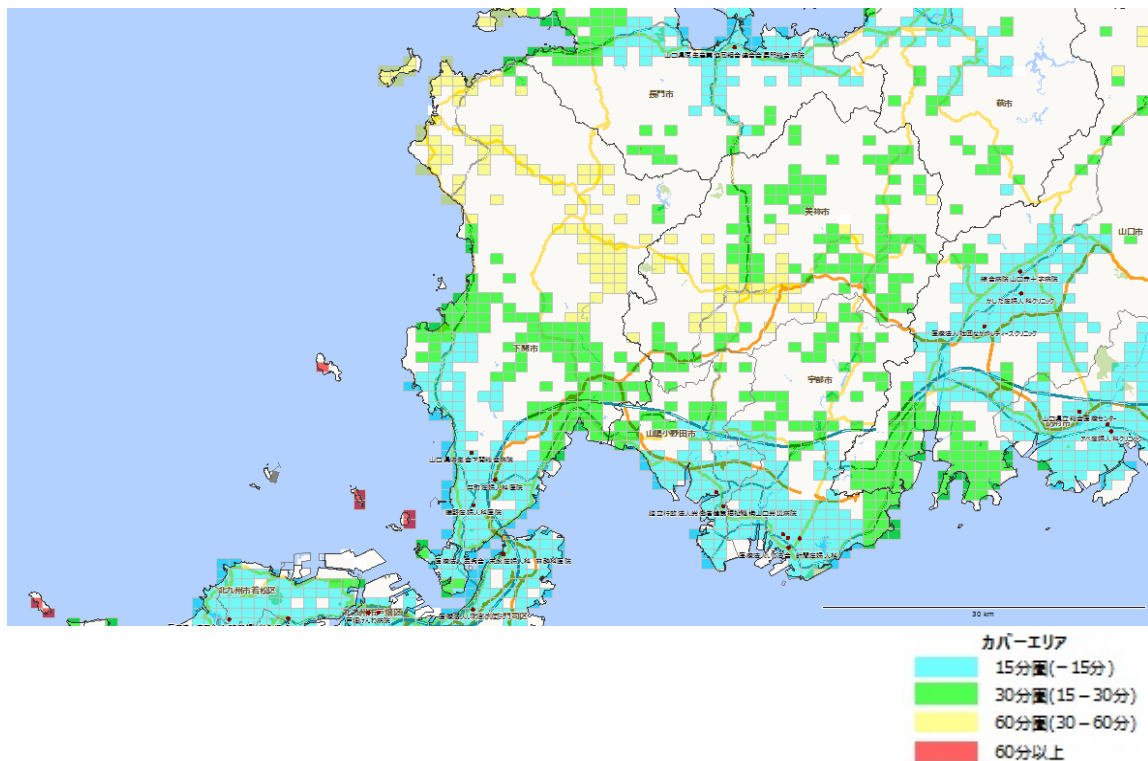
## (下関医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

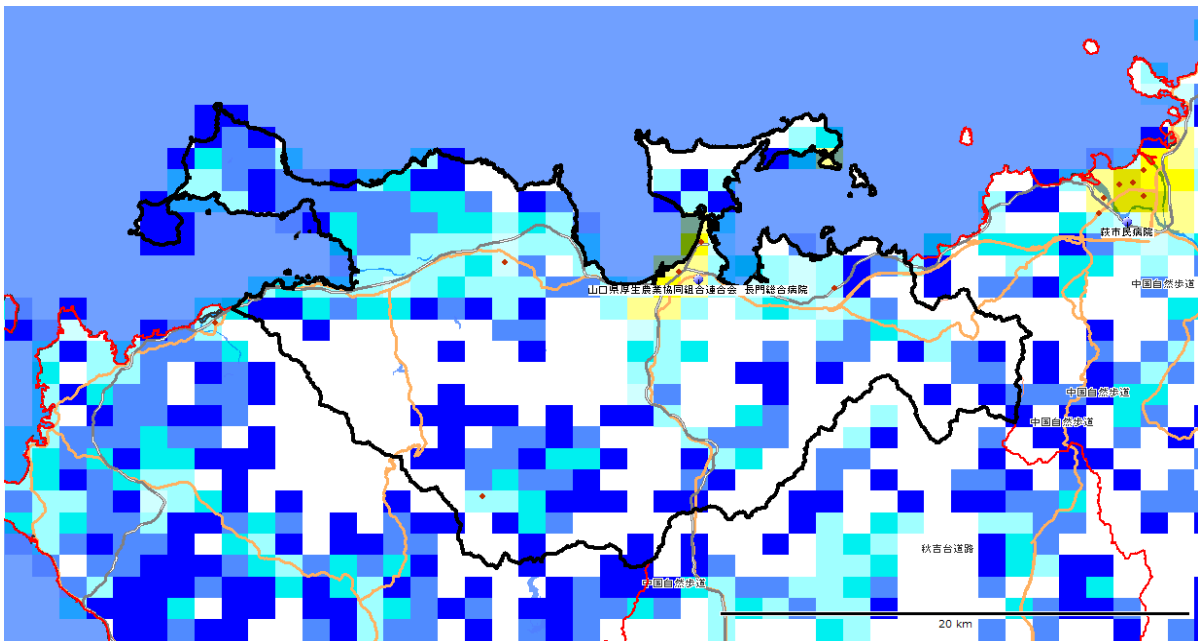


# 35-7. ながと 長門医療圏

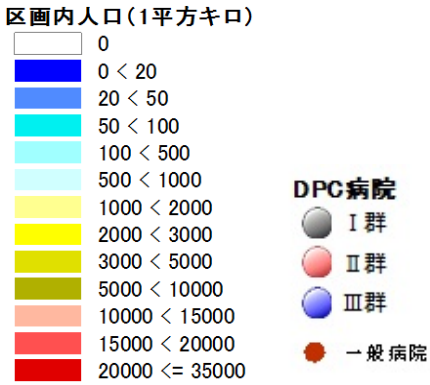
構成市区町村 [長門市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ





## (長門医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長門(長門市)は、総人口約35千人(2015年)、面積357km<sup>2</sup>、人口密度は99人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 長門の総人口は2025年に29千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に21千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長門の一人当たり医療費(国保)は455千円(偏差値73)、介護給付費は236千円(偏差値45)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長門の一人当たり急性期医療密度指数は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は3.3で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。長門には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は72と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は80で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長門の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、651人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が520床(偏差値55)、高齢者住宅等が131床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、564人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、70人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (長門医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

長門医療圏の総人口は、2005年41,127人が、2015年に35,439人と14%減少し、2025年の人口が29,355人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

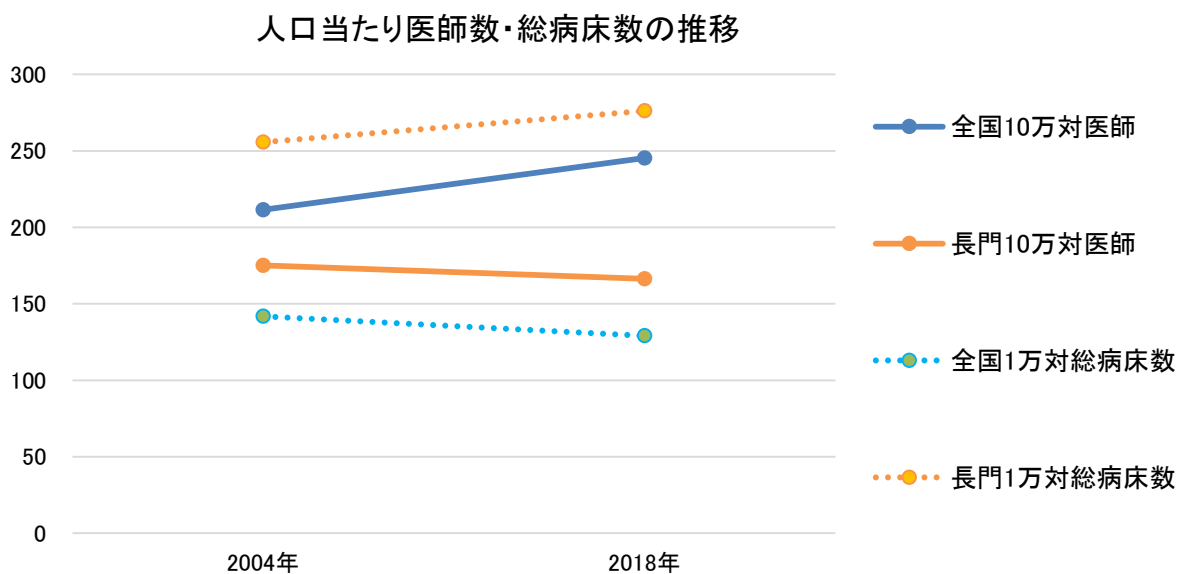
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり14.6病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2018年に6(人口10万人当たり16.9病院(全国平均6.6)偏差値76)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が29(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に26(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、3診療所が減少した。

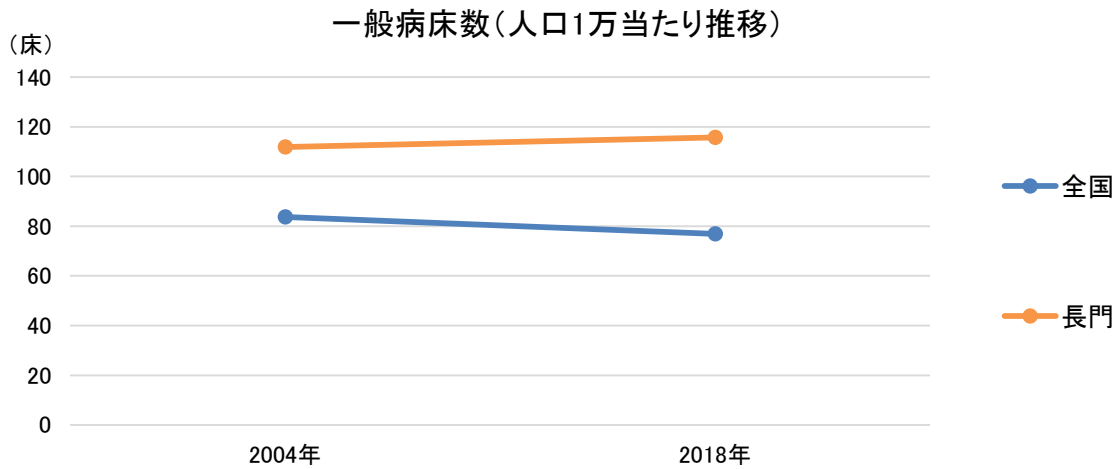
2004年の総病床数が1,052床(人口1万人当たり256(全国平均142)偏差値70)であったが、2018年に979床(人口1万人当たり276(全国平均129)偏差値78)と、73床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が72人(人口10万人当たり175人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に59人(人口10万人当たり166人(全国平均245人)偏差値41)と、13人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



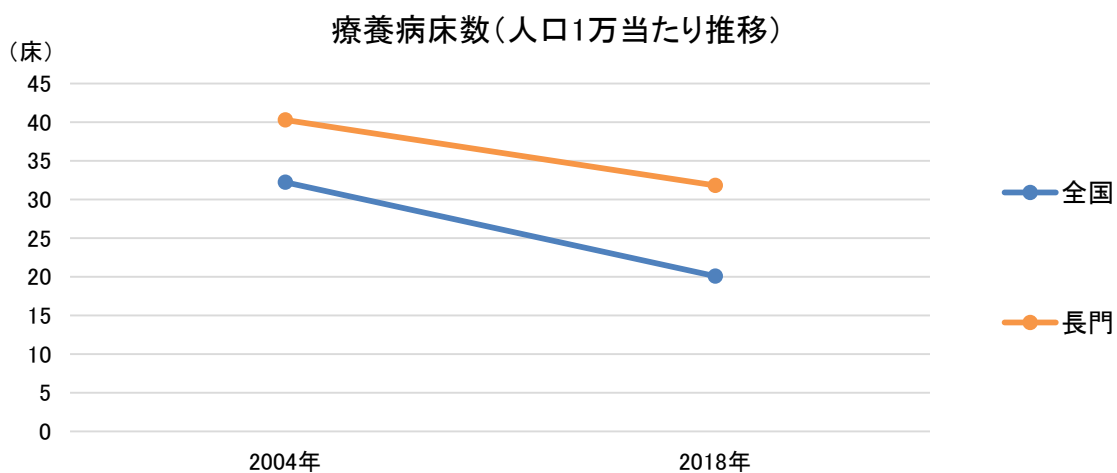
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が460床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2018年に410床(人口1万人当たり116(全国平均77)偏差値65)と、50床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



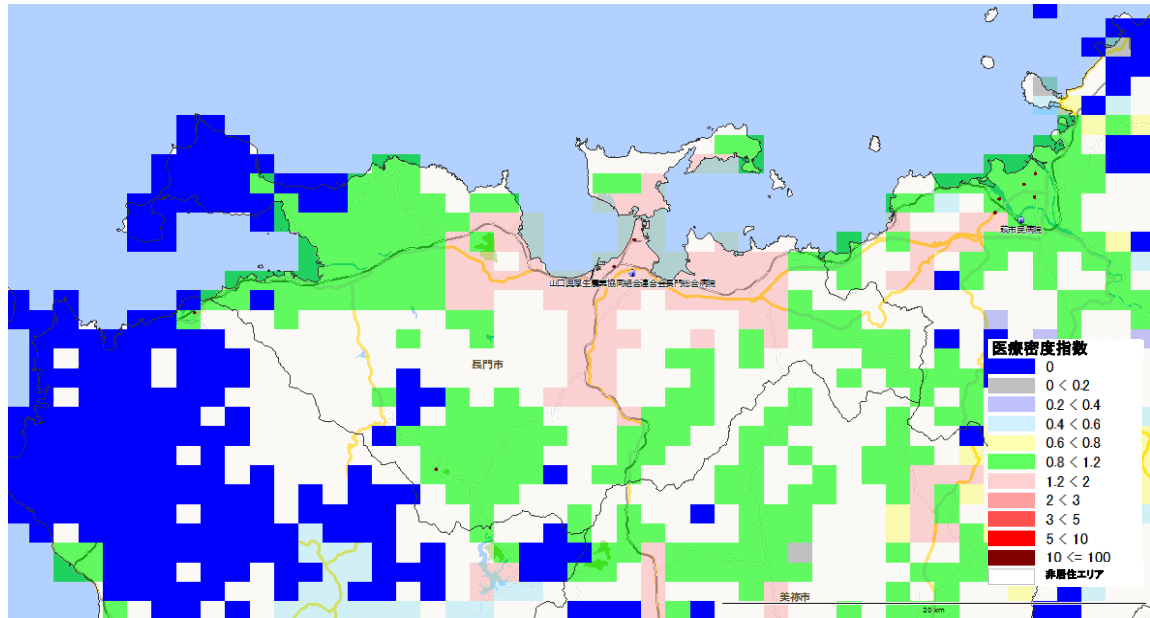
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が266床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2018年に243床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均20)偏差値61)と、23床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



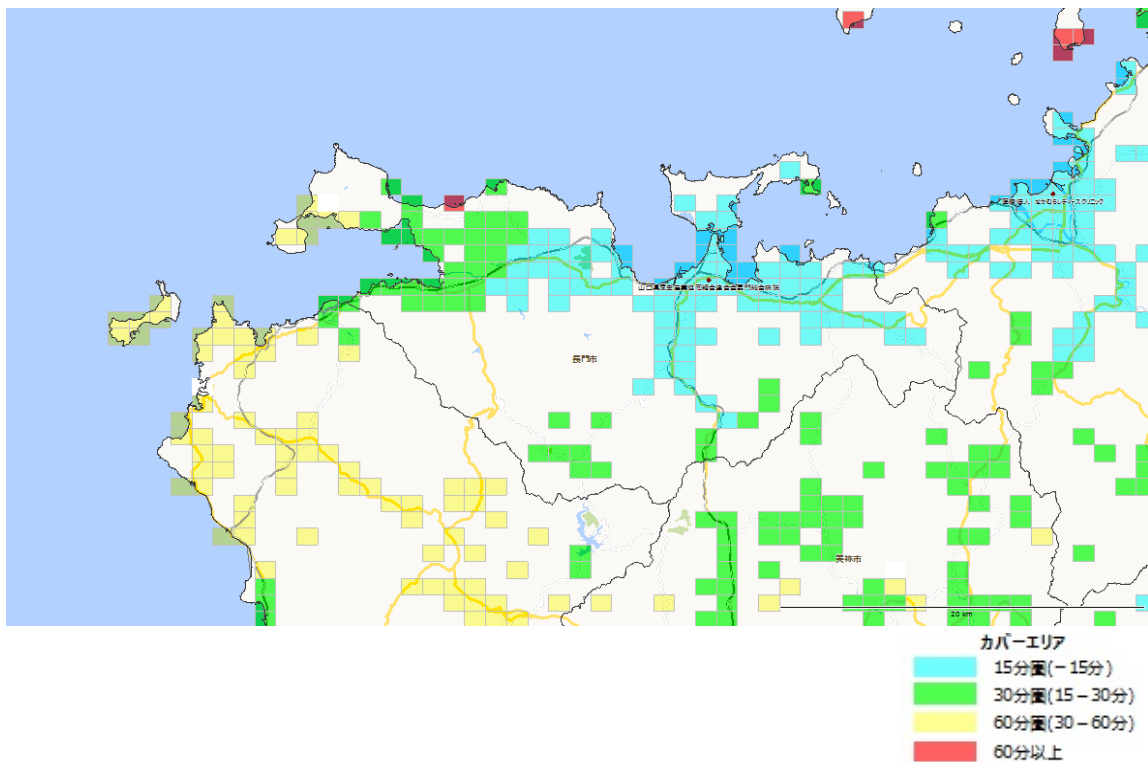
(長門医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

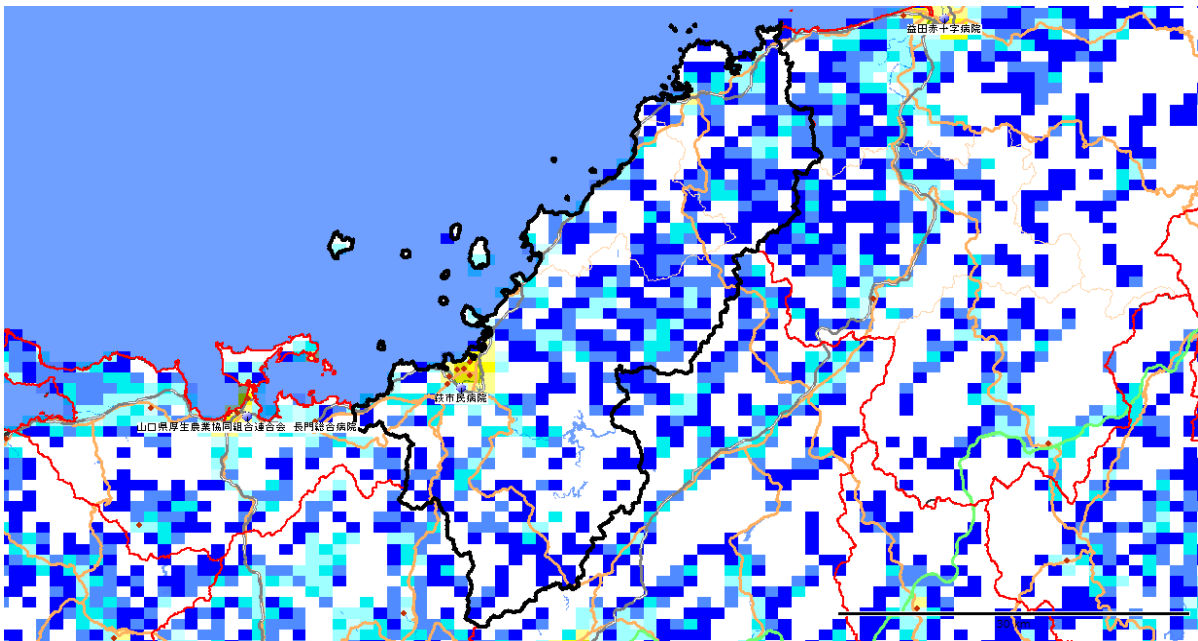


# 35-8. <sup>はぎ</sup>萩医療圏

構成市区町村 [萩市](#) [阿武町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (萩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 萩(萩市)は、総人口約53千人(2015年)、面積814km<sup>2</sup>、人口密度は65人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 萩の総人口は2025年に44千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に31千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて12千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には10千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 萩の一人当たり医療費(国保)は440千円(偏差値69)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 萩の一人当たり急性期医療密度指数は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は2.39で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。萩には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は87と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 萩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、908人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が724床(偏差値51)、高齢者住宅等が184床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、861人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設72、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム64、グループホーム42、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、53人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (萩医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

萩医療圏の総人口は、2005年62,091人が、2015年に53,023人と15%減少し、2025年の人口が43,758人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

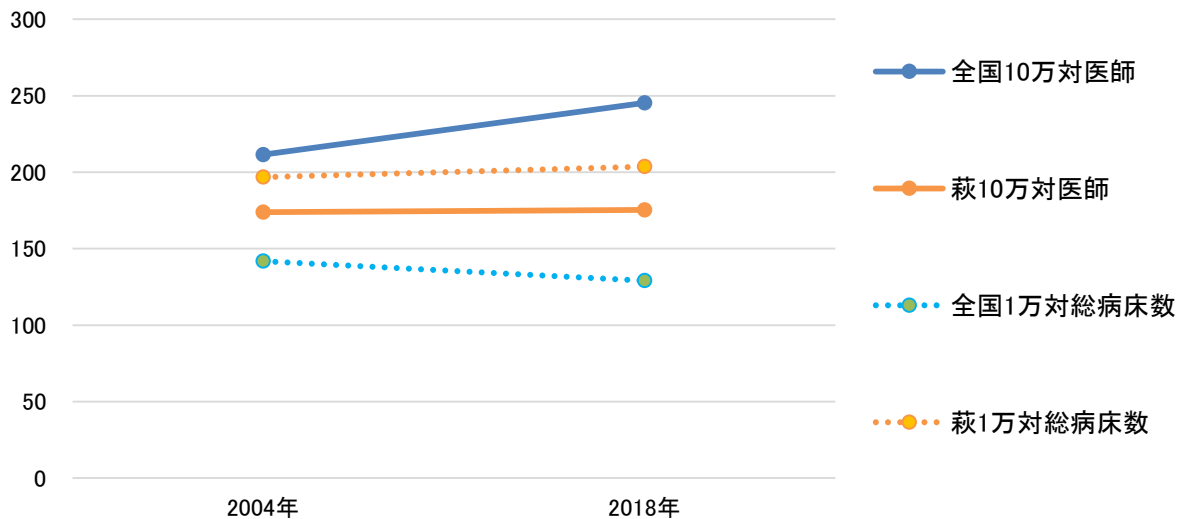
2004年の病院数が7(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に7(人口10万人当たり13.2病院(全国平均6.6)偏差値67)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が59(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2018年に53(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値60)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,222床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に1,080床(人口1万人当たり204(全国平均129)偏差値64)と、142床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

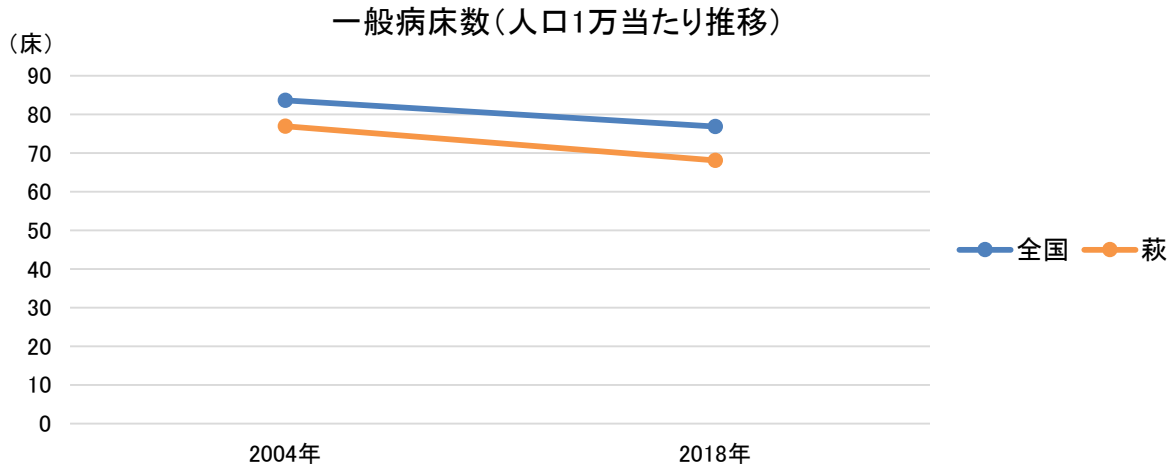
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が108人(人口10万人当たり174人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に93人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値42)と、15人の減少、率にして14%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



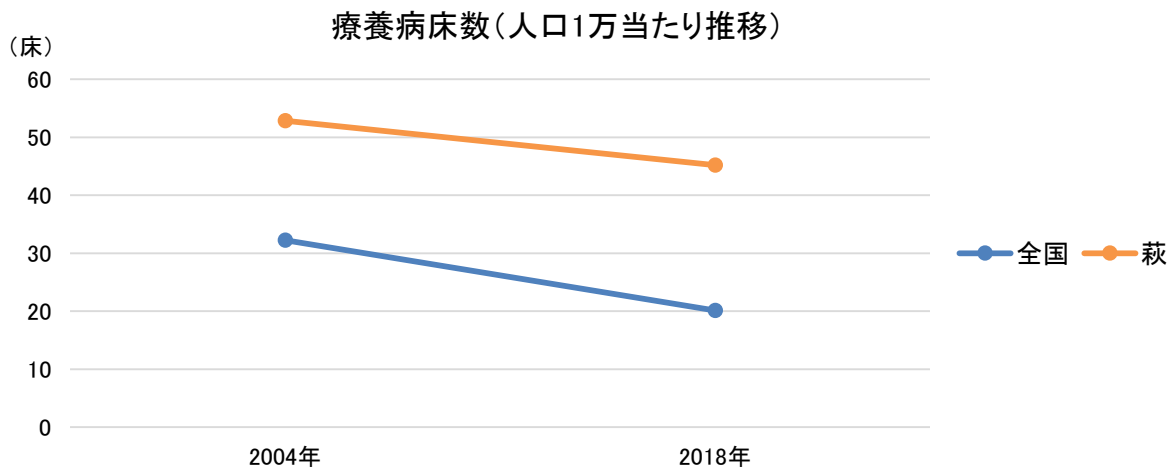
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が478床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2018年に361床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値47)と、117床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

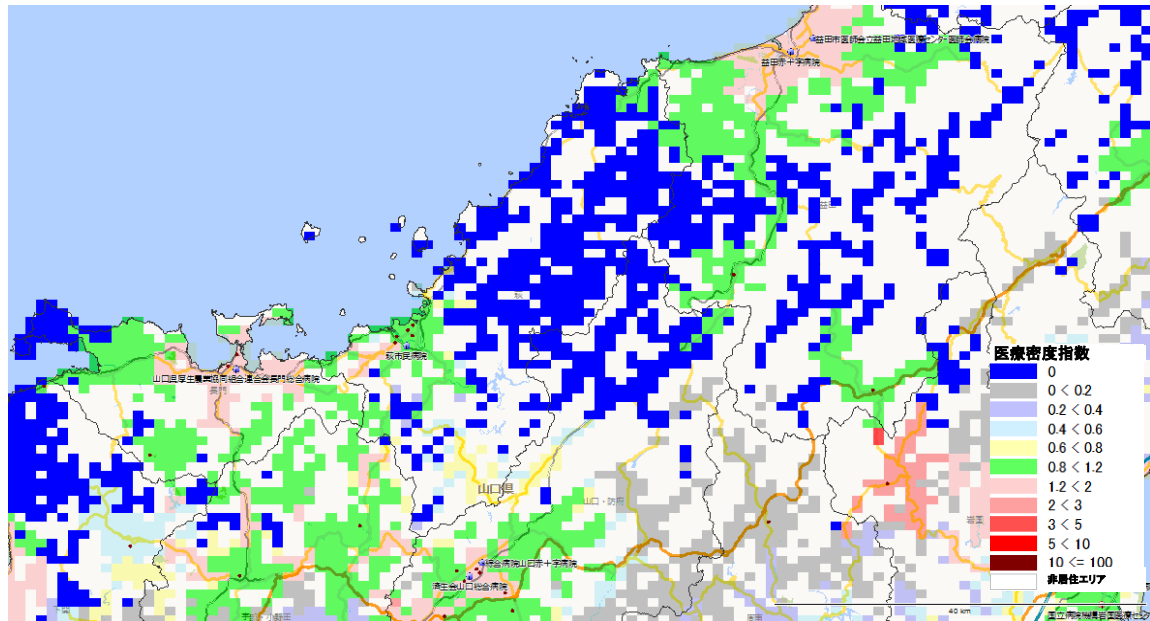
2004年の療養病床(病院+診療所)が532床(75歳以上1,000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2018年に522床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均20)偏差値73)と、10床の減少、率にして2%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。





## (萩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表35-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

